

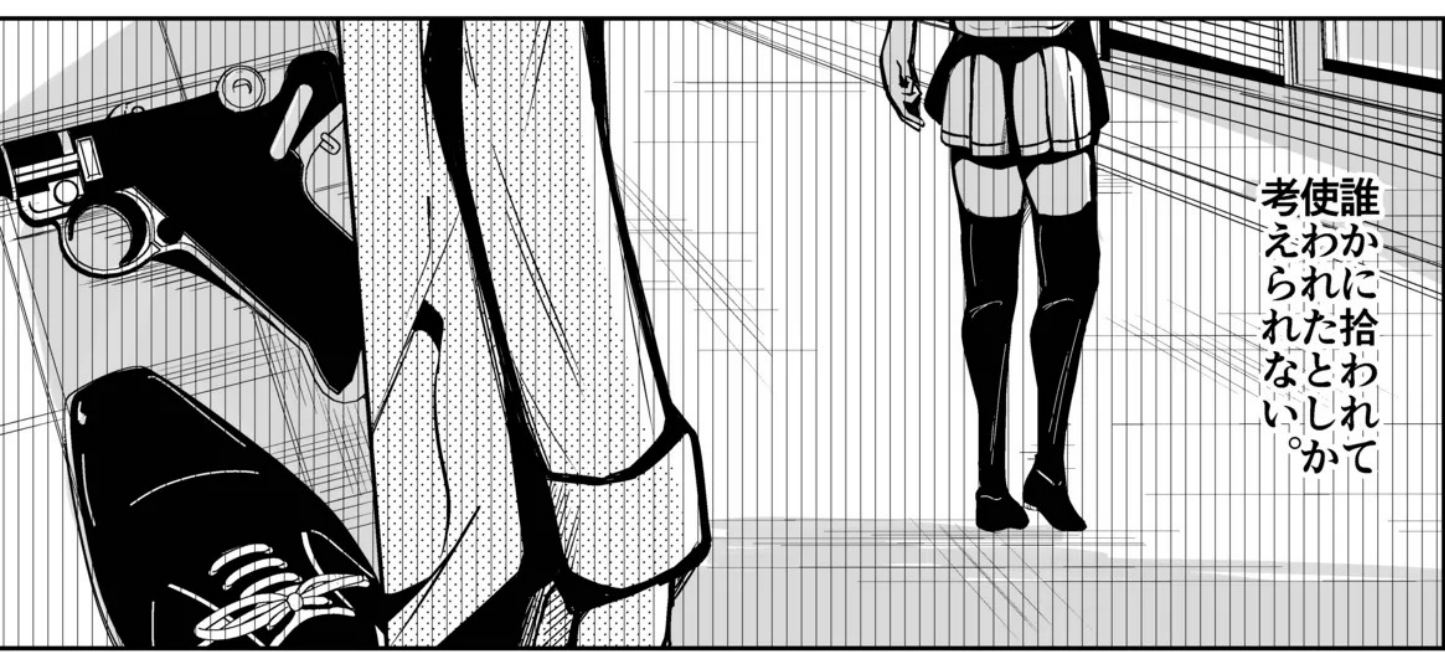


…あの時
無くしたやつか。

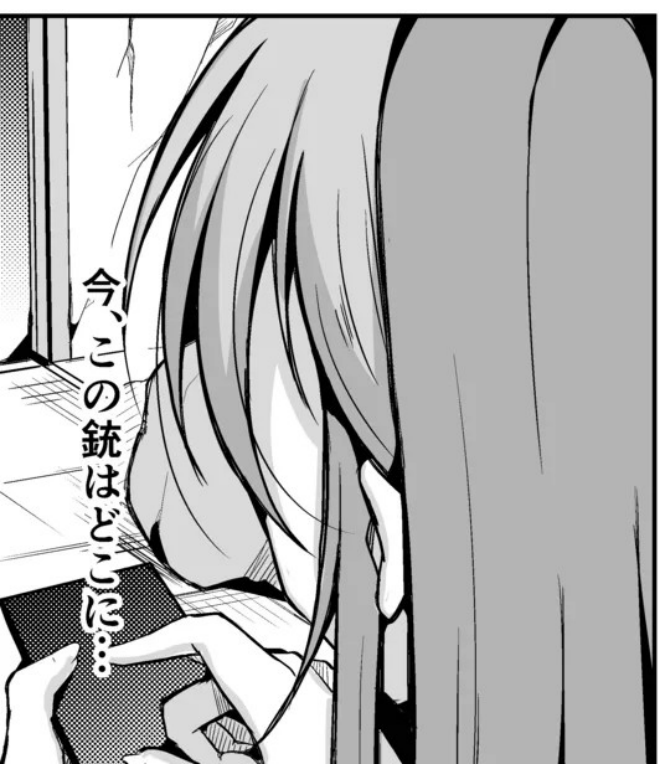
魂を抜き取る銃_001 不正なアクセスを確認

！詳細！
あなたの位置情報と異なる場所で
銃の使用が確されました。
心当たりがない場合、不正に使用された
恐れがあります。

アクセス履歴を見る



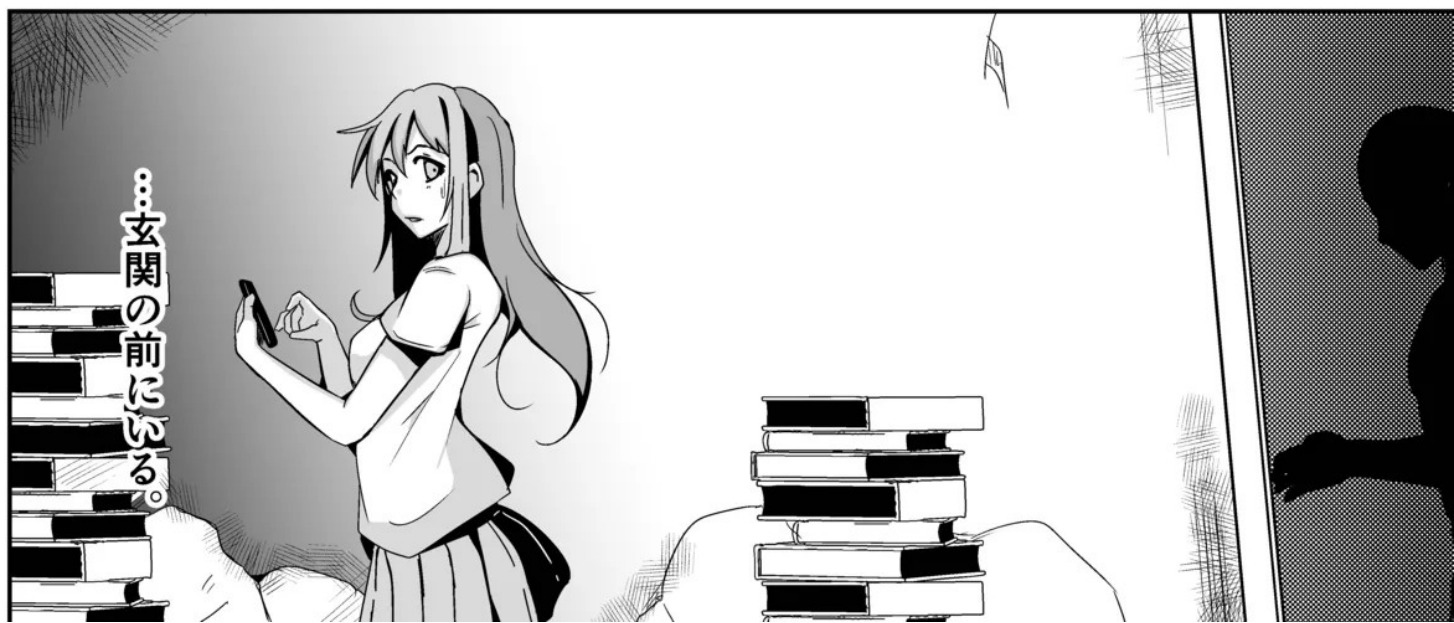
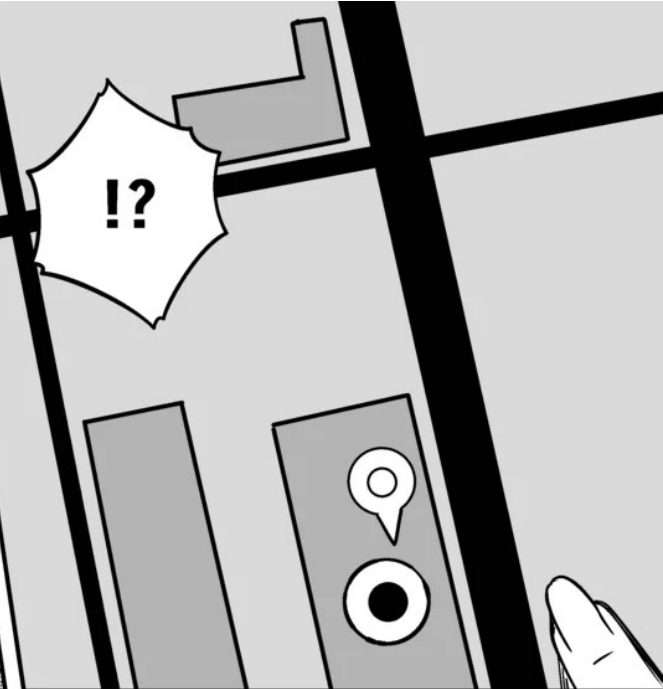
誰かに拾われて
使えられたのか



今、この銃はどこに…



しかし、俺以外が
使えるはずが…





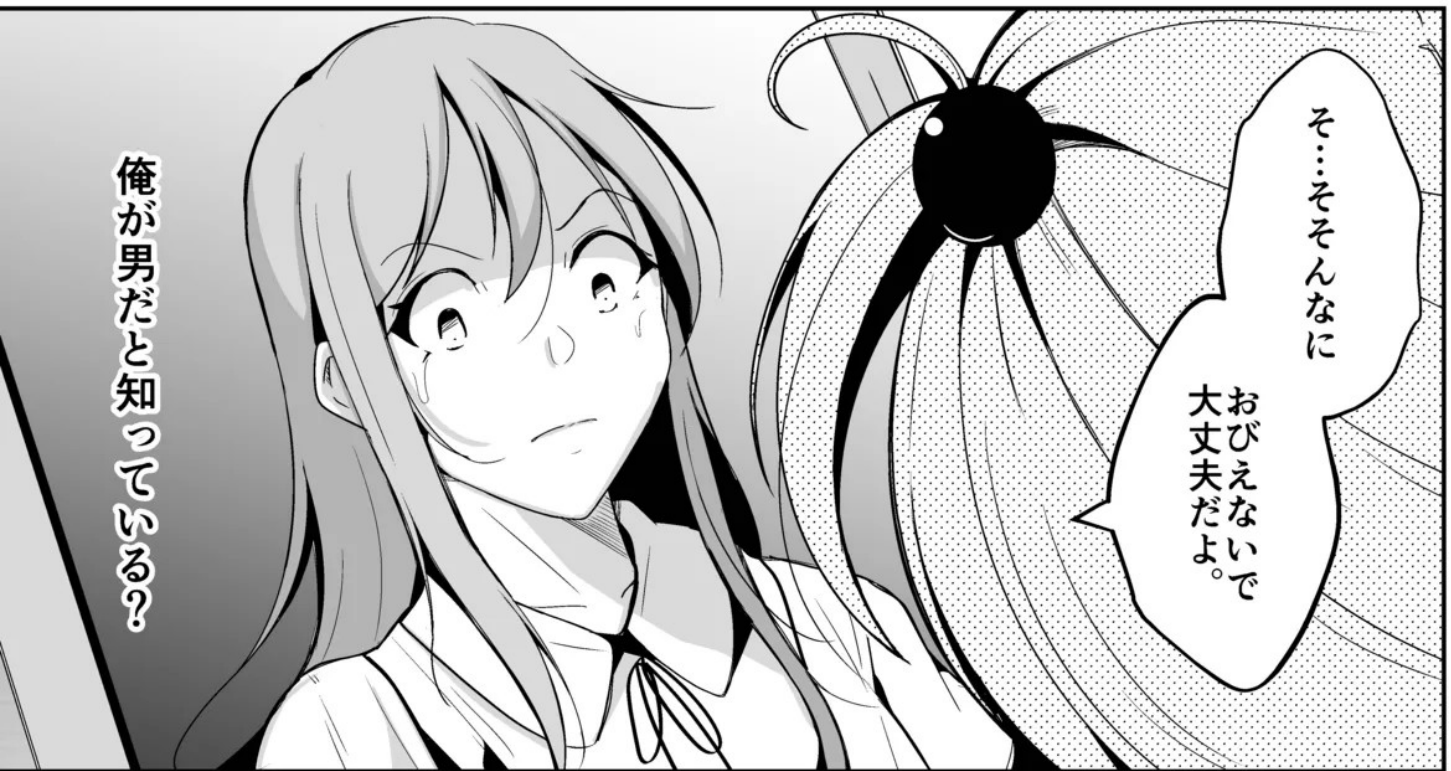
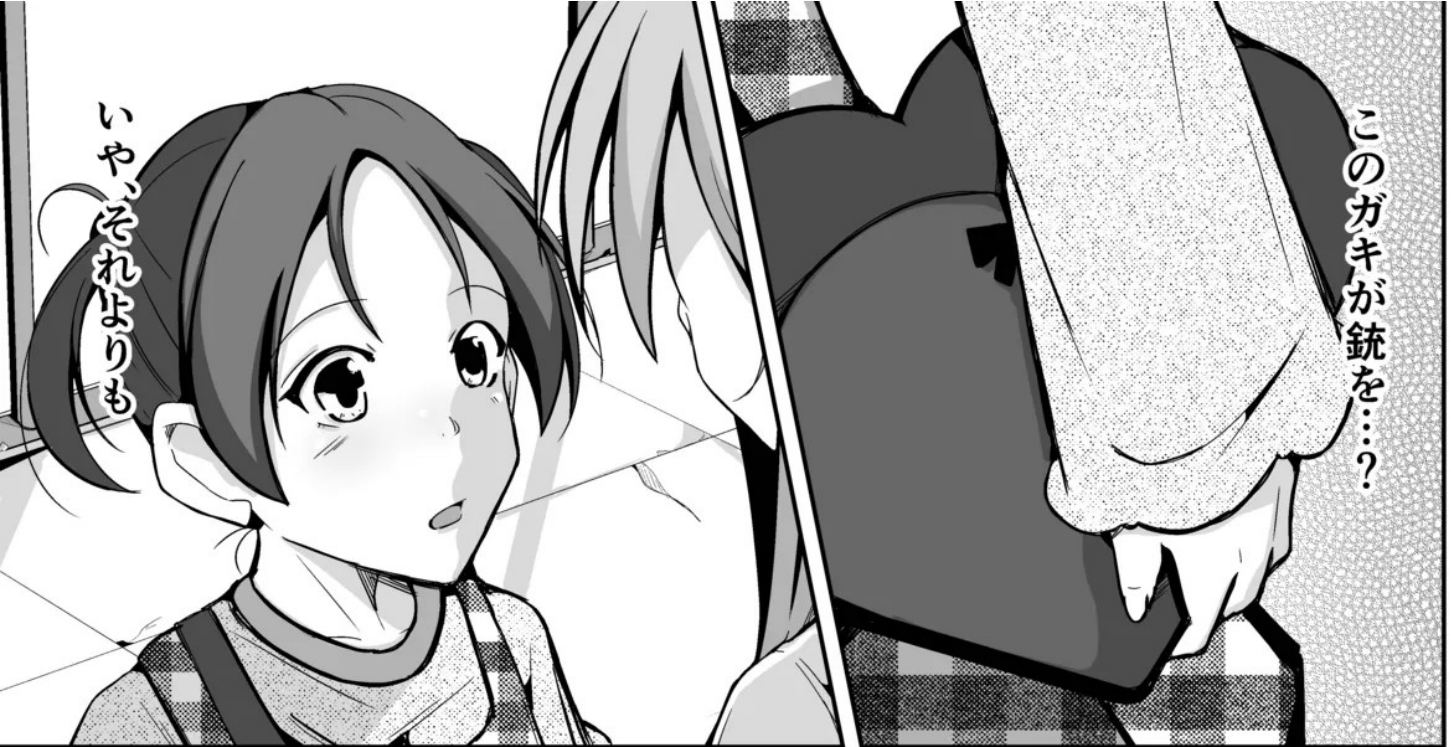
あ、あああのっ…

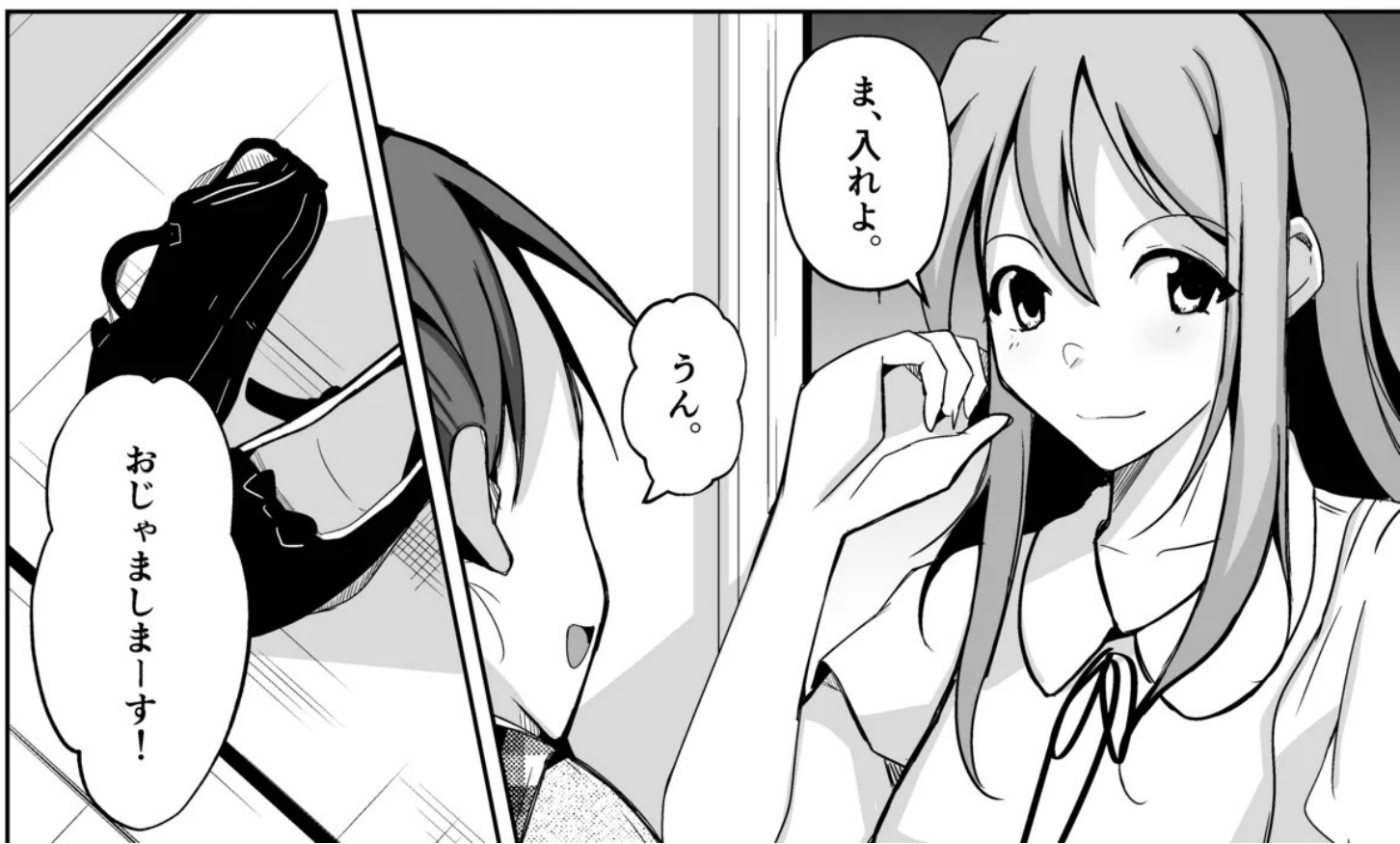
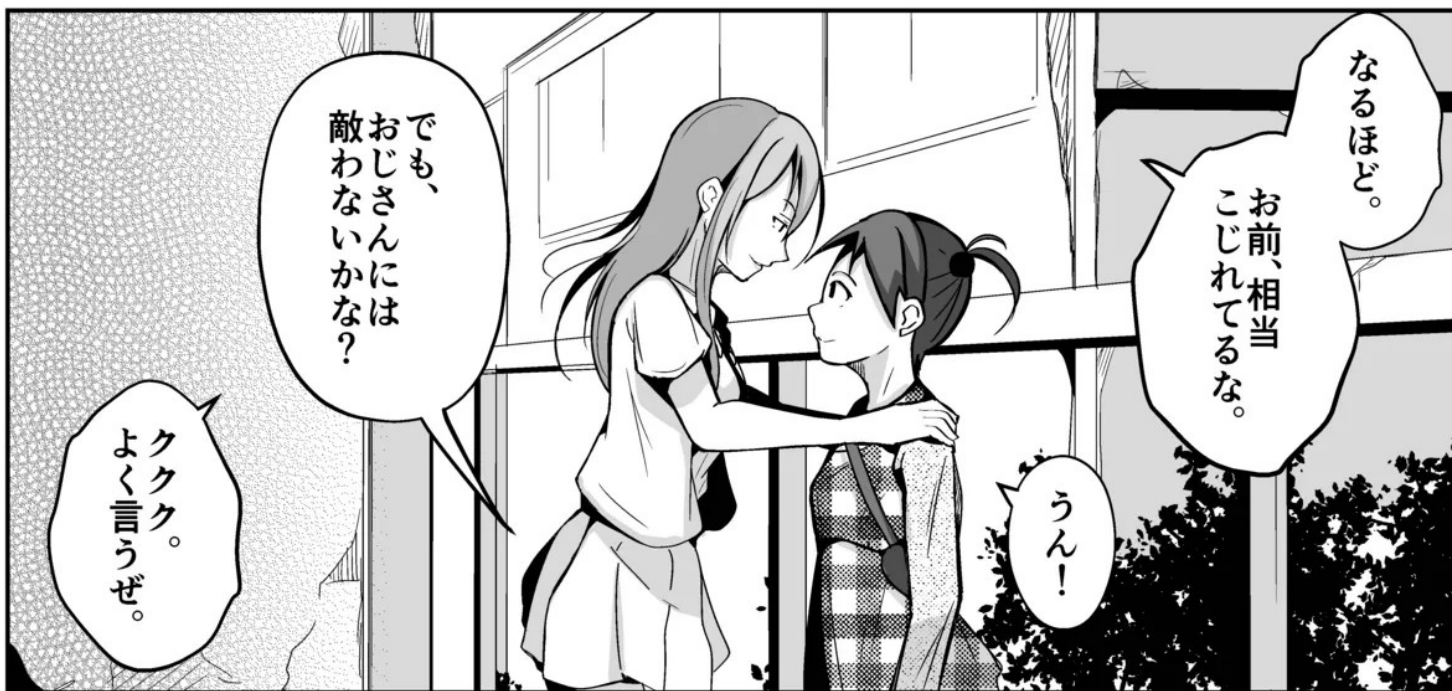
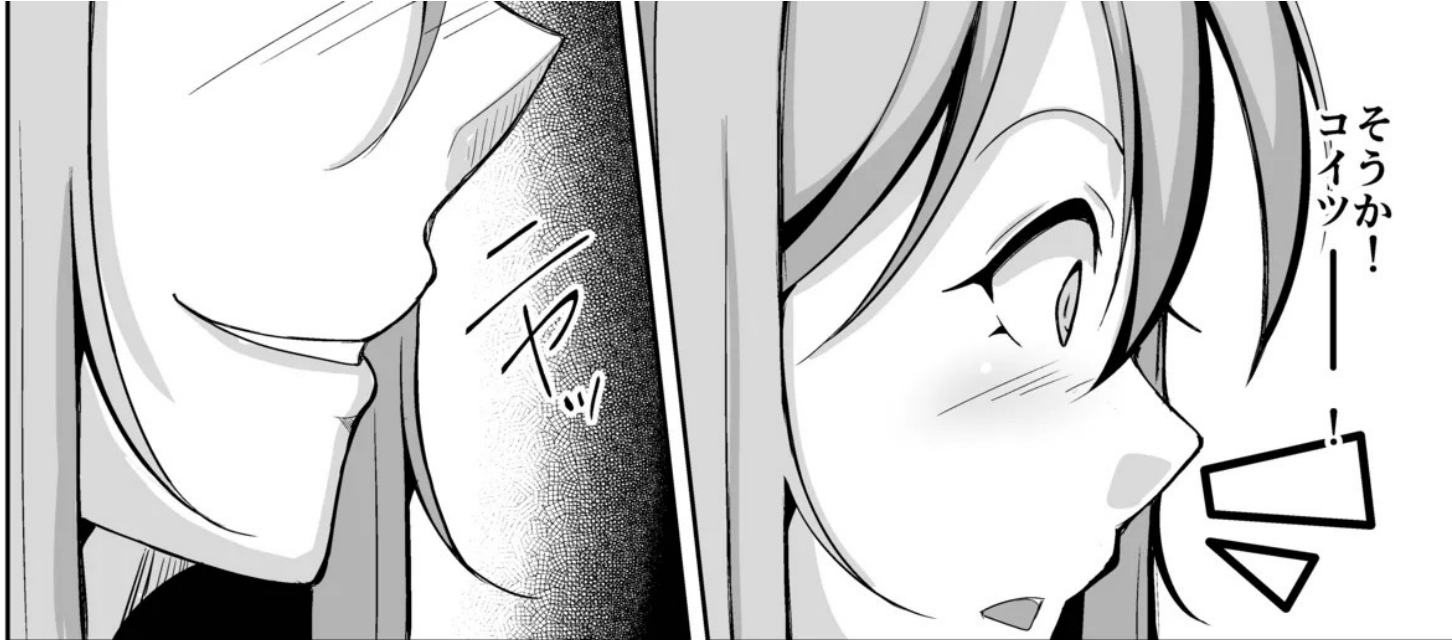
…
おじさんが、

ガキだと
？

この銃の持ち主…
ですか？









僕は偶然
見てしまったんだ。

あなたが
銃を使って

身体を
乗り換えていくのを。

あり得ないとは思
ったけど、

あの時、
女性の身体から
出ていた

魂のよう
なものな

太った中年の
おじさんだった。

そして、
二人の女性の反応が
明らかに
おかしい事から

僕は確信したんだ。

この銃は
魂を抜き取るんだって。



似た顔の人間なら
顔証が
誤動作するように

似た魂を持つ人間なら
誤動作する
可能性がある。

お前も
俺と同じく

相当拗らせた
人間だった
ってわけだ。

あはは。

話続けるね。

まあ。

今のお前の身体を
見れば納得だ。

僕は早速
使ってみる事に
したんだ。

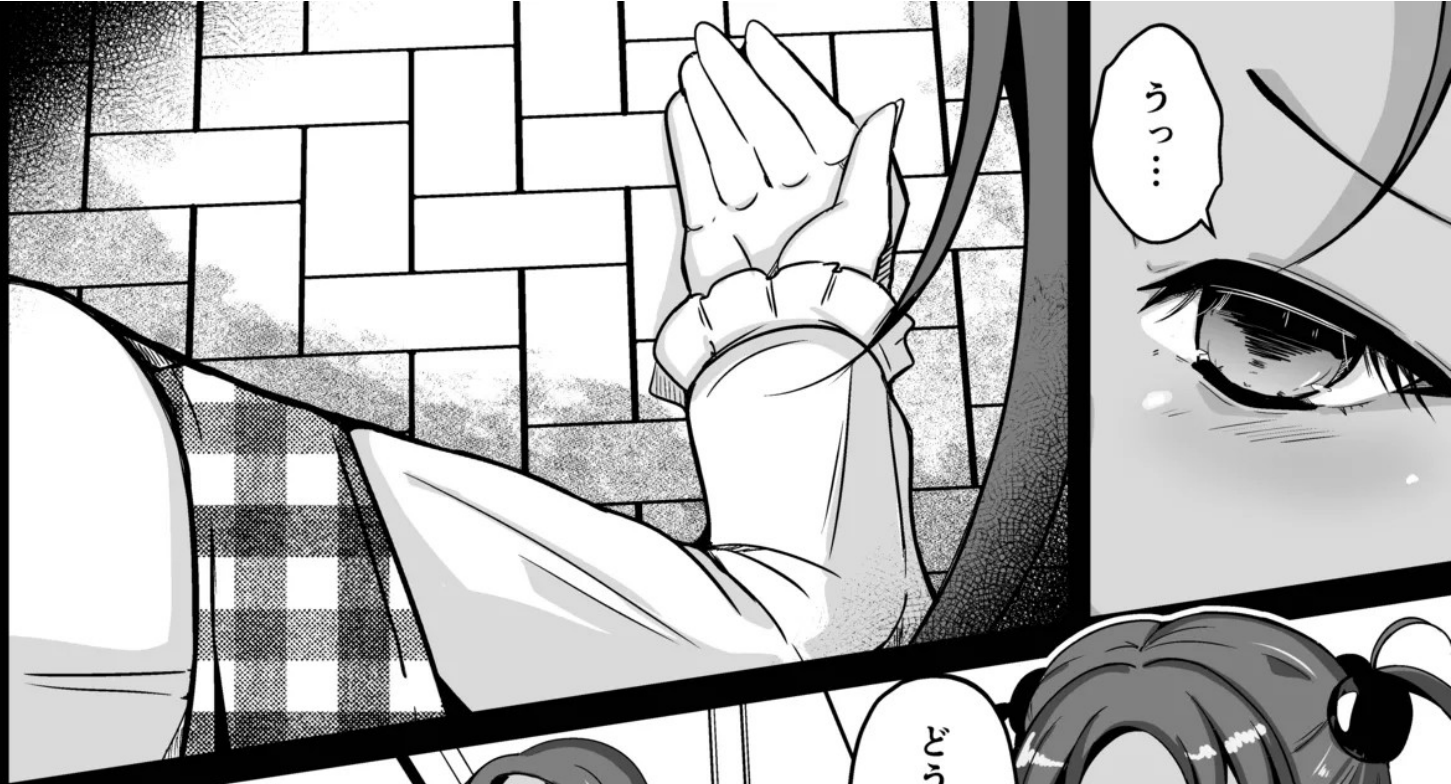
これを使えば

僕は人生を
やり直せる！

幸せそうな
笑顔の
子になれば…

こんな僕でも！

今度こそ
青春を
謳歌できるんだ！









ママ、
お待たせ！

もう！
ダメじゃない！
奈々！

勝手に
飛び出して。



何かあったら
どうするの？

ごめんなさい。



うん…

僕は人生で初めて
本当に心の底から
幸せだと実感したんだ。

次から
気を付けるのよ。

他人から見ればの
当たり前家族の
やり取りいかにも
しれないけど



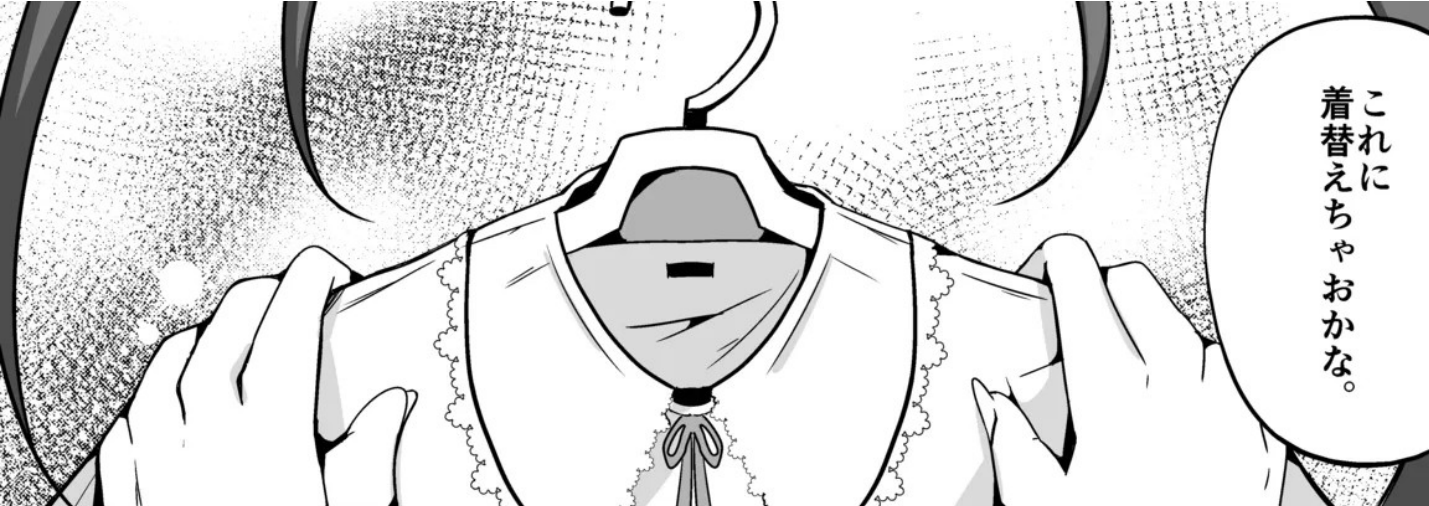
うわーん！

ママーっ！

これは危ないから
僕が預かっておくれ。

じゃあね。
奈々ちゃん。





これに
着替えちゃおかな。



へへっ。
これが
奈々ちゃん。

…今の僕。



カワイイし
お肌も
スベスベだ。



うわあ…。

か、カワイイ。





スカートひらひら
させるの

一度やって
みたかったんだよね。

っ！

もじ

もじ

この感じ…。



…あれ？

ない。



なんだか、
意識したら
急にドキドキ
しちゃった。

ドキ
ドキ



…はっ！

そうか！

今、僕は
女の子だった。

おちんちんなんて
あるわけないんだ…。



…それにしても
女の子って

どうやって
おしっこするの？



はあー。

…んっ。

なんだろう。

あああ…

おちんちんが
無いからか

おしっこが出るまでの
時間が短くて
それが短くて
とてもな
新鮮に感じる。

ただおしっこを
してるだけなのに
その行為一つで

僕が今、
女の子だ
という事を
嫌でも自覚
してしまう
んだ！

嬉しー！

それが
たまらなく



どうしたの
奈々ちゃん？

急にママとお風呂に
入りたいなんて。

あれほど一人で
入るって
言ってたのにね。

うん！

やっぱりママと
入りたいなあーって
思ってた。

だって、奈々、
ママの事

大好きだもん！

ひゃっ！

ハロ
ハロ
ッ



こうして僕は

幸せな時間を
過ごしたんだ。

はい。
できたわよ。

でも…

ありがとう！
ママ！

気付いちゃったんだ。



僕は君を
探す事にしたんだ。

管理者モードから
君の位置情報を
掴む事は簡単だったよ。

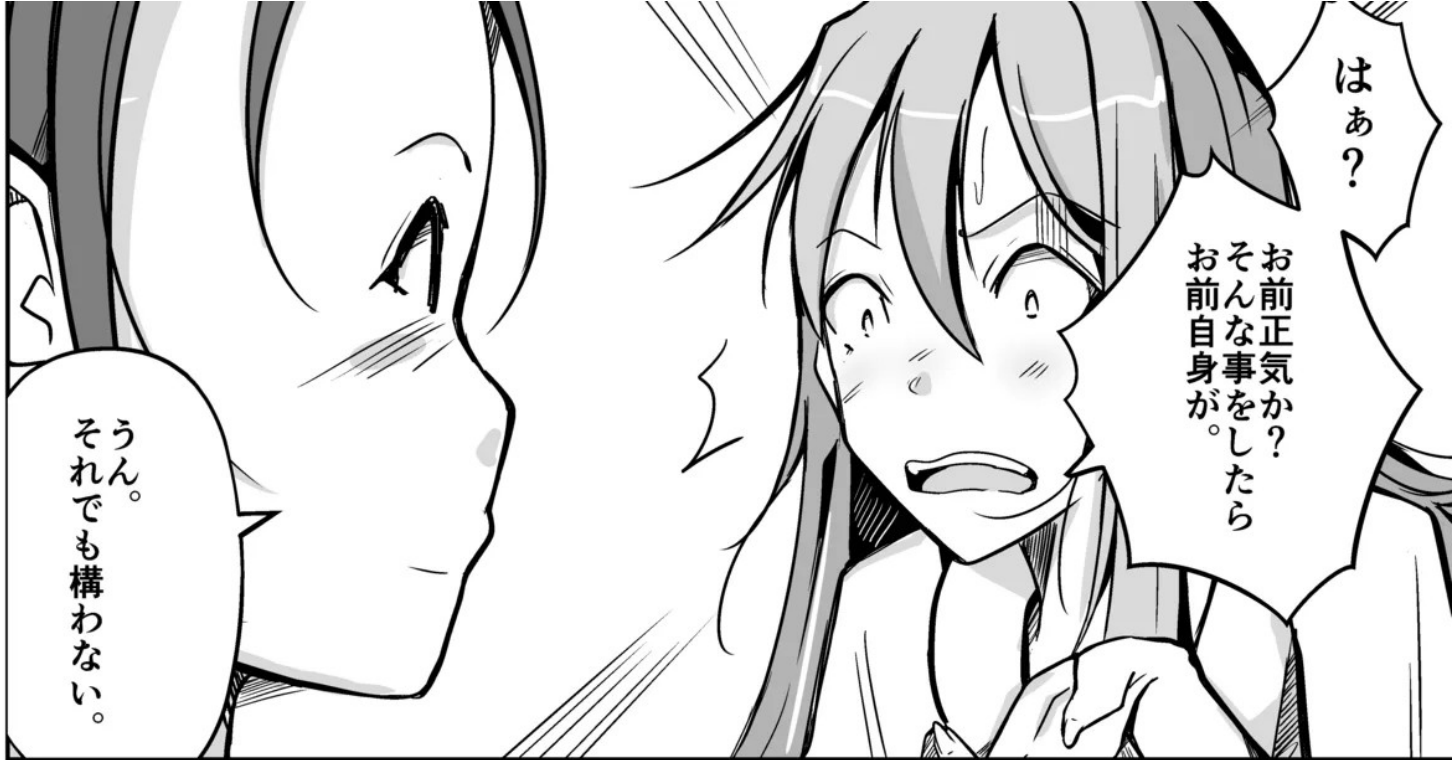
これほどのシステムを
構築できる人なんだ。

僕が真に
やりたい事も

実現できるんじゃないかってね。

真に
やりたい事？

うん。
それはね…。



はあ？

お前正気か？
そんな事をしたら
お前自身が。

うん。
それでも構わない。



俺とは違う方向で
相当拗らせてるな。

お前。



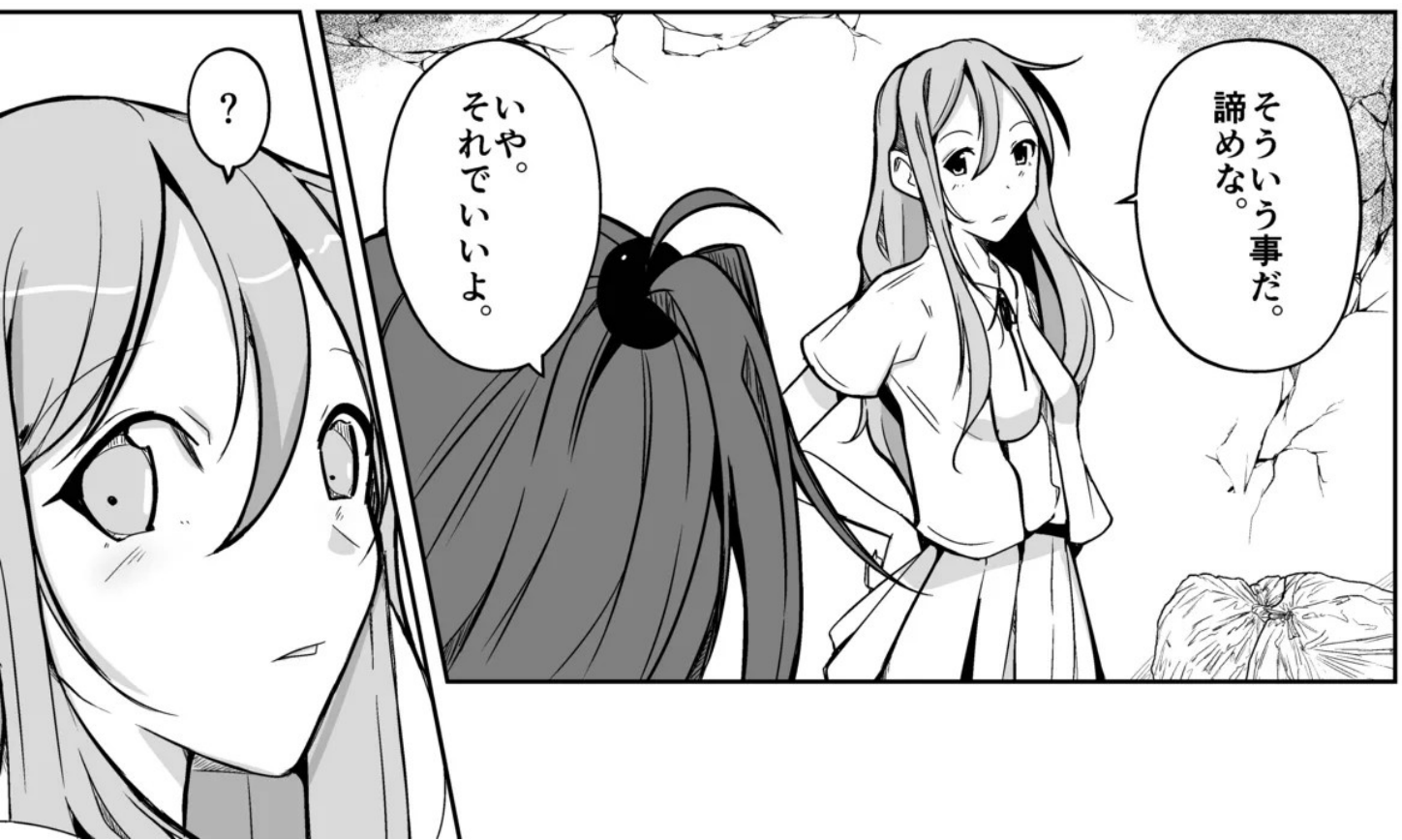
いや、それが
僕の望んだ事なんだ。

まあ。お前が望むなら
それでいいけどさ。

俺には到底
理解できねえ。



で、お願いが
あるんだ。



開発は
僕がやるから

システムデータを
見せてくれないかな？

元データさえあれば
僕でも
ある程度
いじれると思うんだ。

だから、



その代わり
君は僕の
夢の実現のための

手助けを
して欲しいんだ。



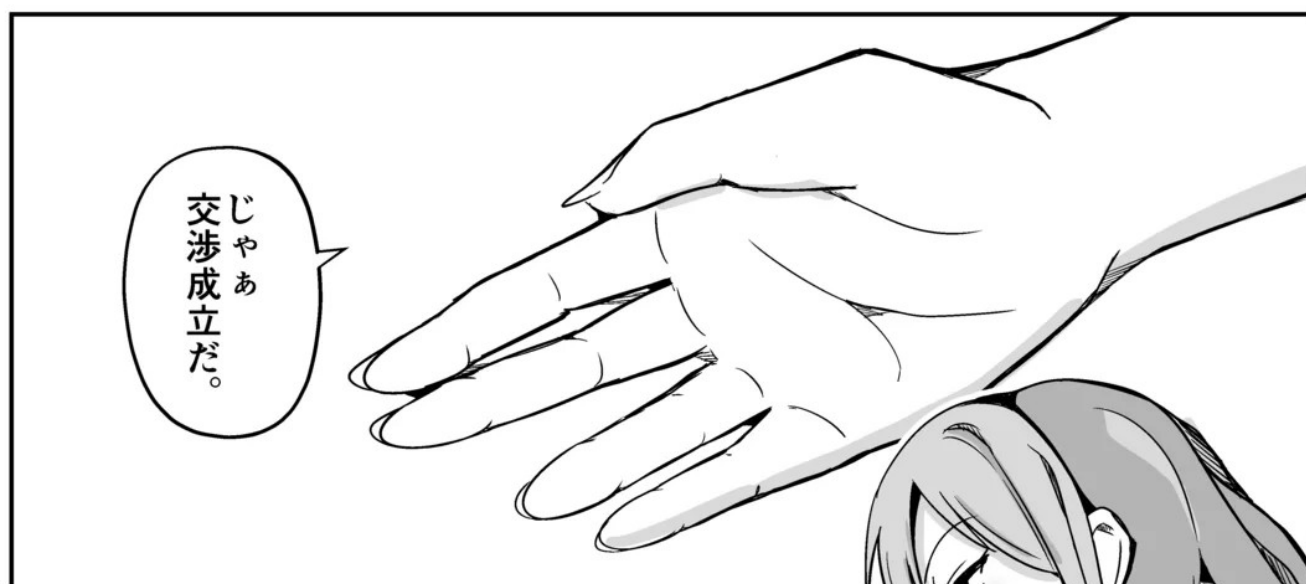
この
魂を抜き取る銃を

今以上に
利便性の高いものに
仕立てる。



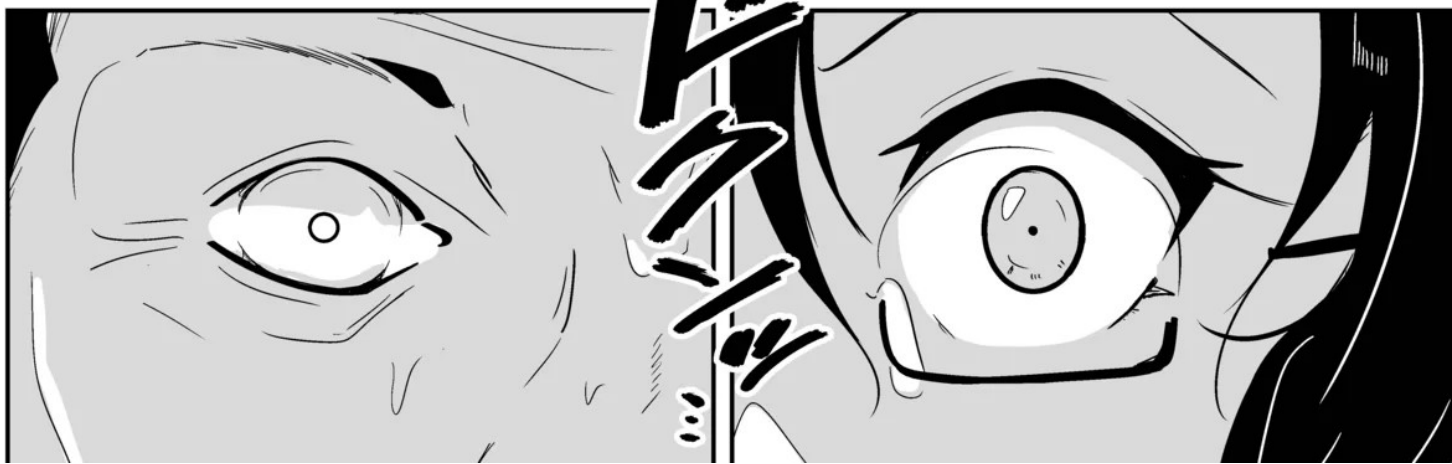
それでは
ダメかな？

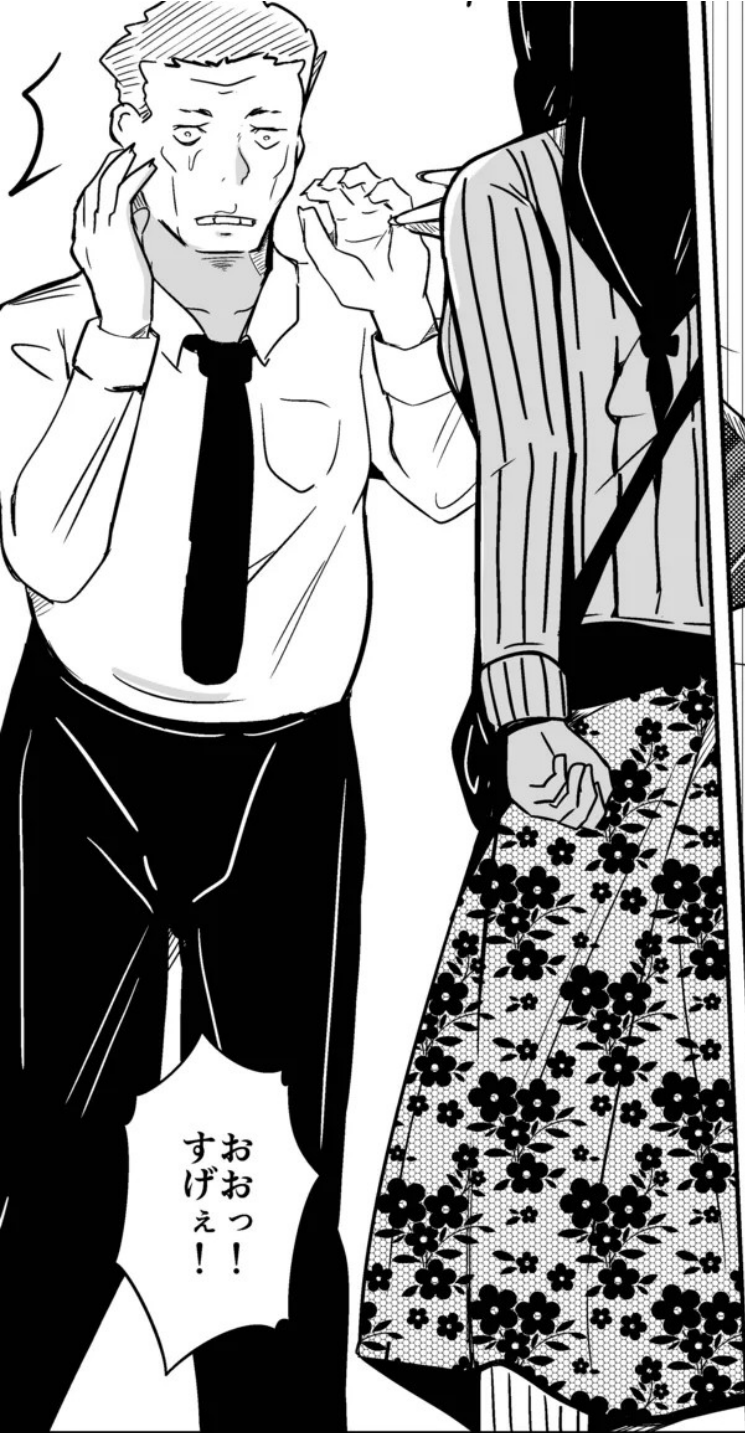






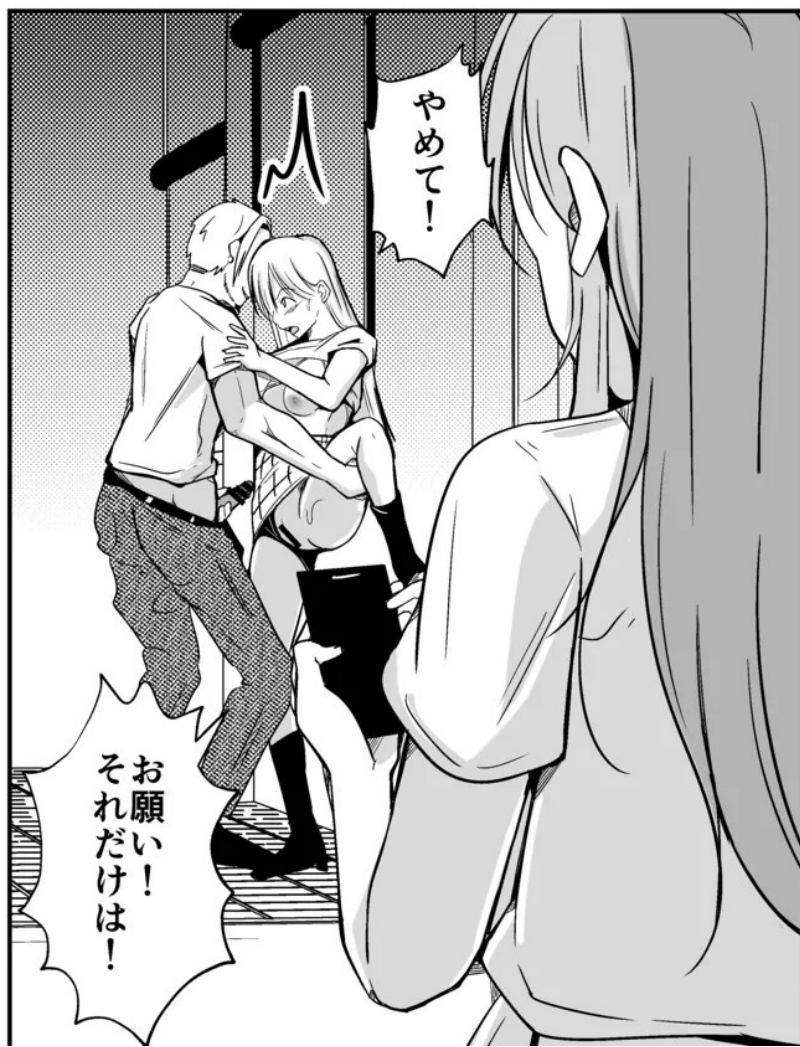


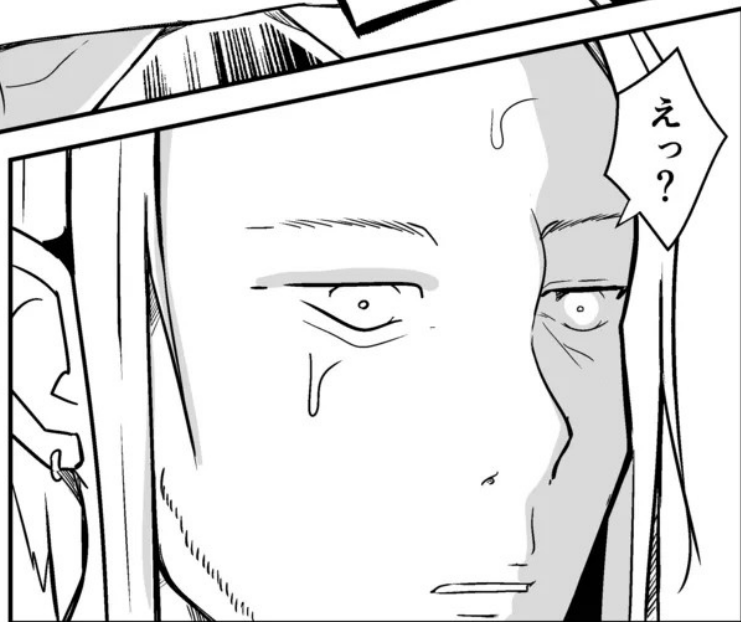










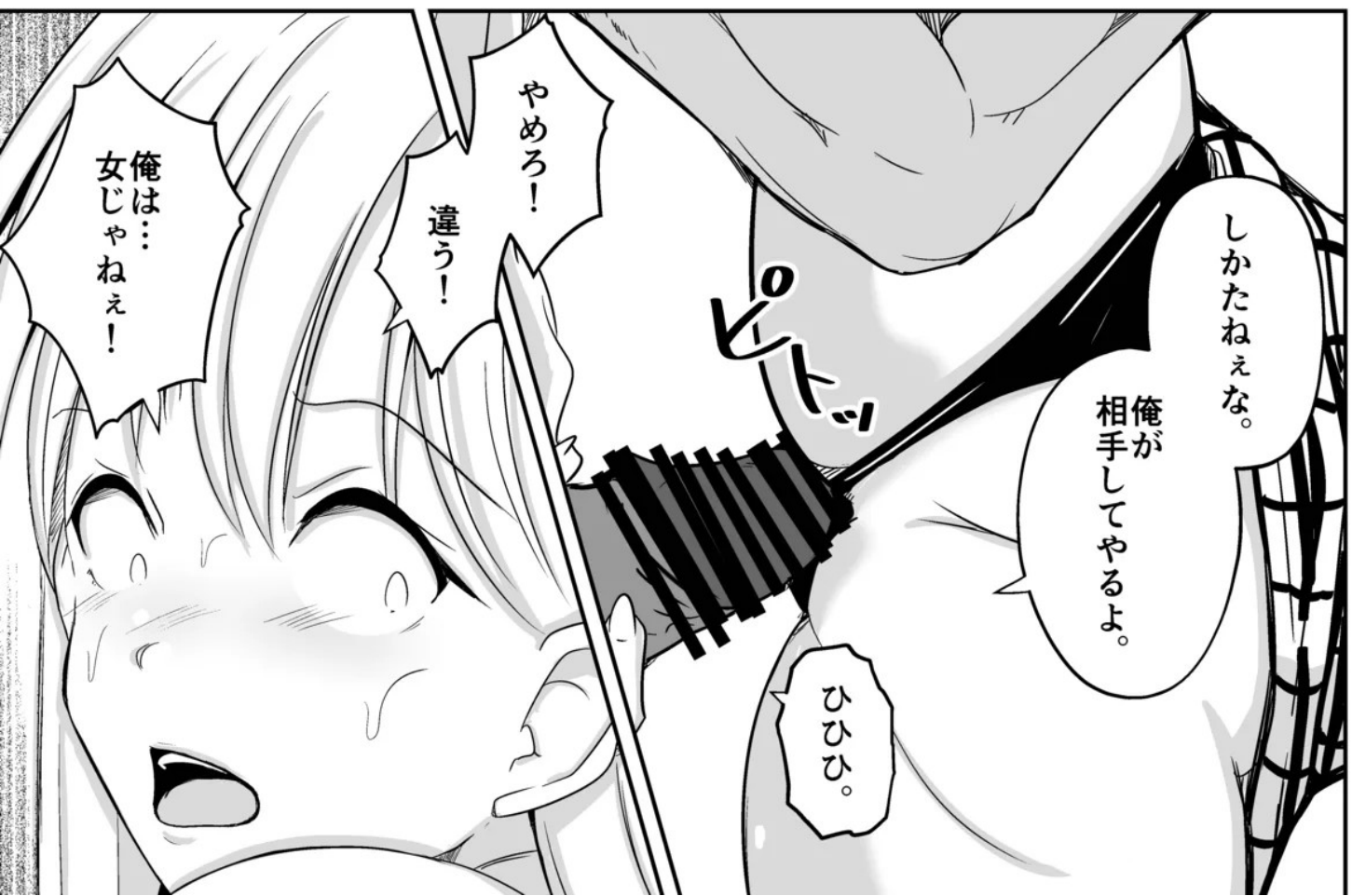
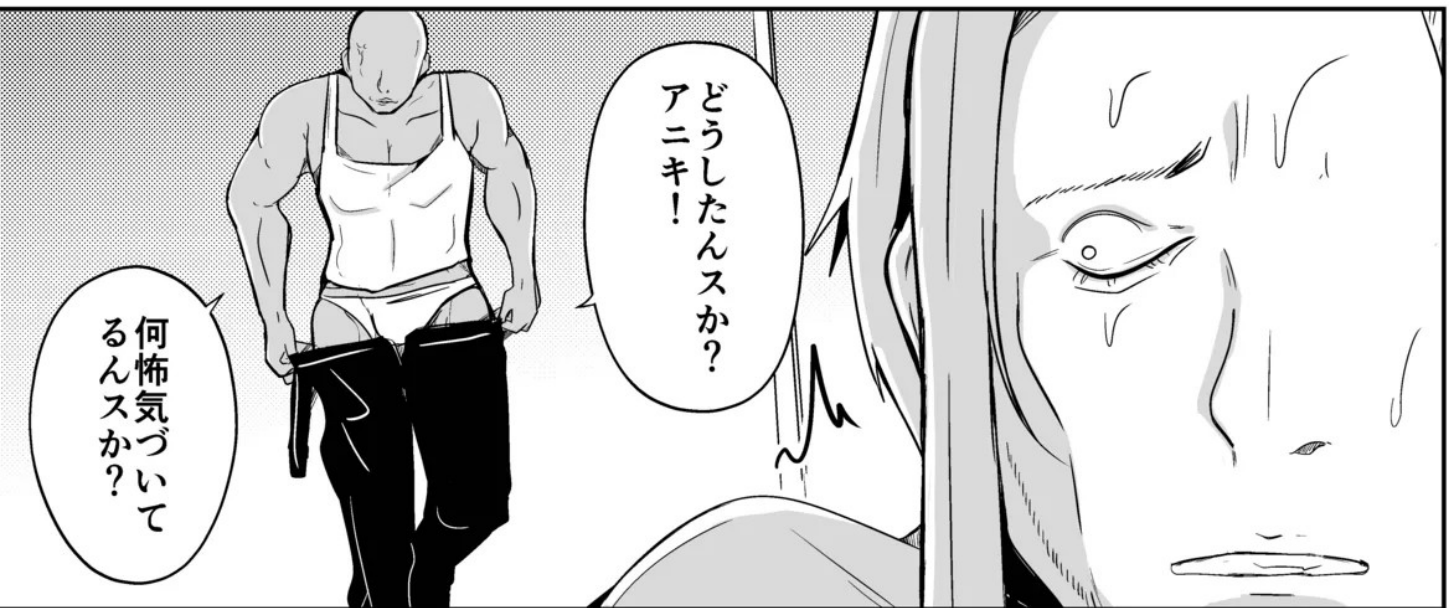
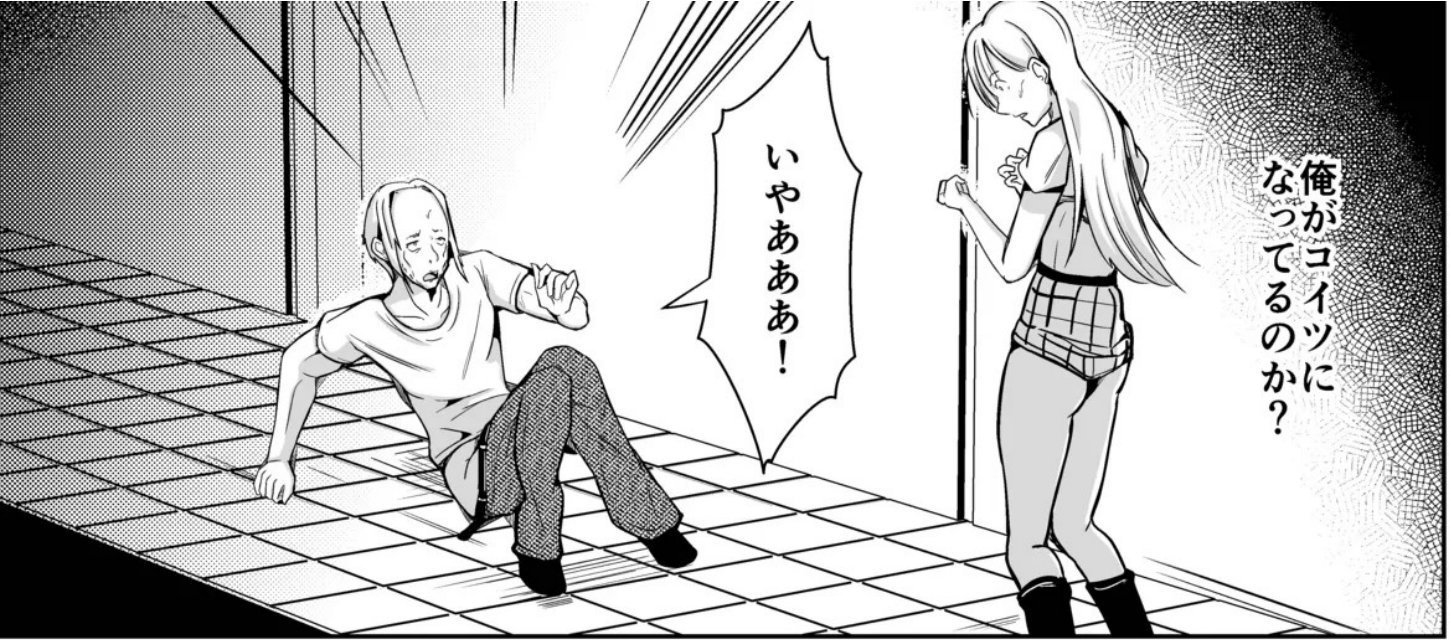


なんで



俺
わたし
が

アムズン?



ズッ

意味わかんねえこと
いってんじゃねーよ！

ひっ！

ぎいああああっ！



嘘じゃねえ！

俺は…
女じゃねえ！

恐らく
俺とコイツが
入れ替わったんだ！

へえ。
そうなのか。

じゃあ、
何か？

お前が
アニキだって
言うのか？

そうだ！







やめて！

その人が
言ってる事は
本当なの！

原因は
わからないけど
私たち身体が
入れ替わってるの！



それは、
アニキしか
知らないはず…

本当に…
アニキなんっすか…

だから
そう言ってる
じゃねーか！



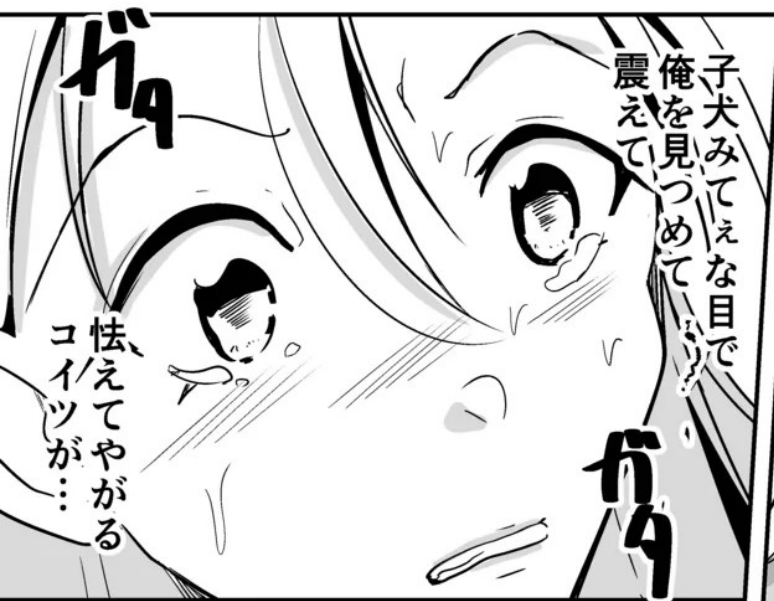
マジですか
アニキ？

証拠は
あるんっすか？



Xの件…

バラされたく
ないだろ？





な…
なぜだっ!?

あっ!

アッ!

こいつあ
好都合だぜえ!

こんなチャンス
ねえもんなあ!

あぐっ!



あの
アニキがよお

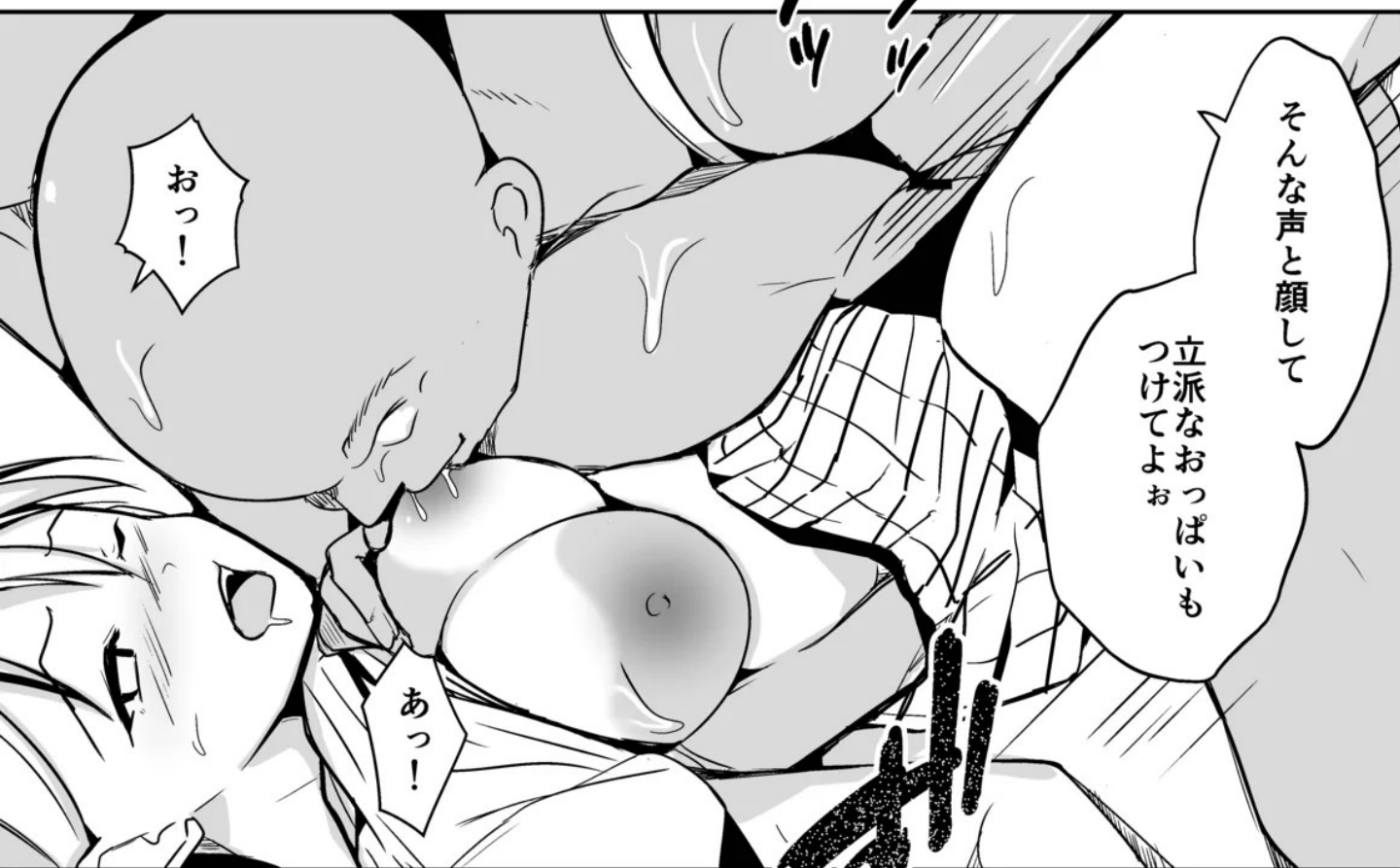
俺に怯えてる
なんてよお!

もっと
見せてくれよ!

うっ!

泣き叫ぶ
サマをよお!

ハイ!



ど
こ
が
男
だ
っ
て
い
う
ん
だ
!

う
あ
あ
あ
あ
っ
!

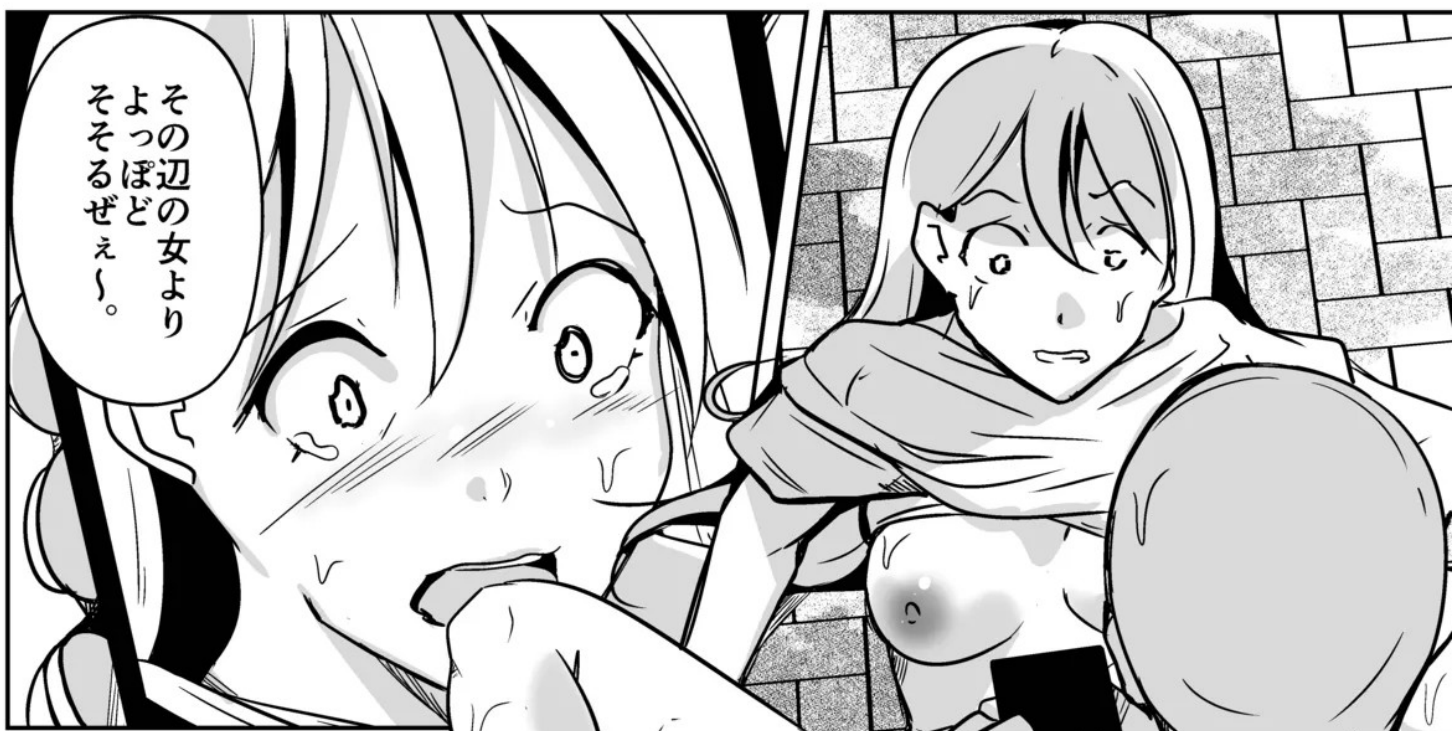
ガ
ワ
が
女
な
ら

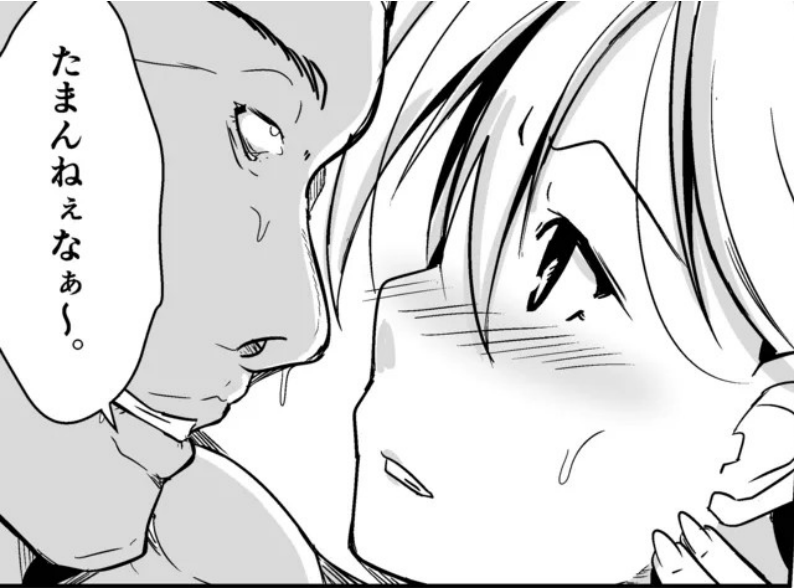
ま
し
て
や
こ
ん
な
カ
ワ
イ
イ
女
な
ら
尚
更

中
身
が
ア
ニ
キ
だ
な
ん
て
関
係
ね
え
ー
ん
だ
よ

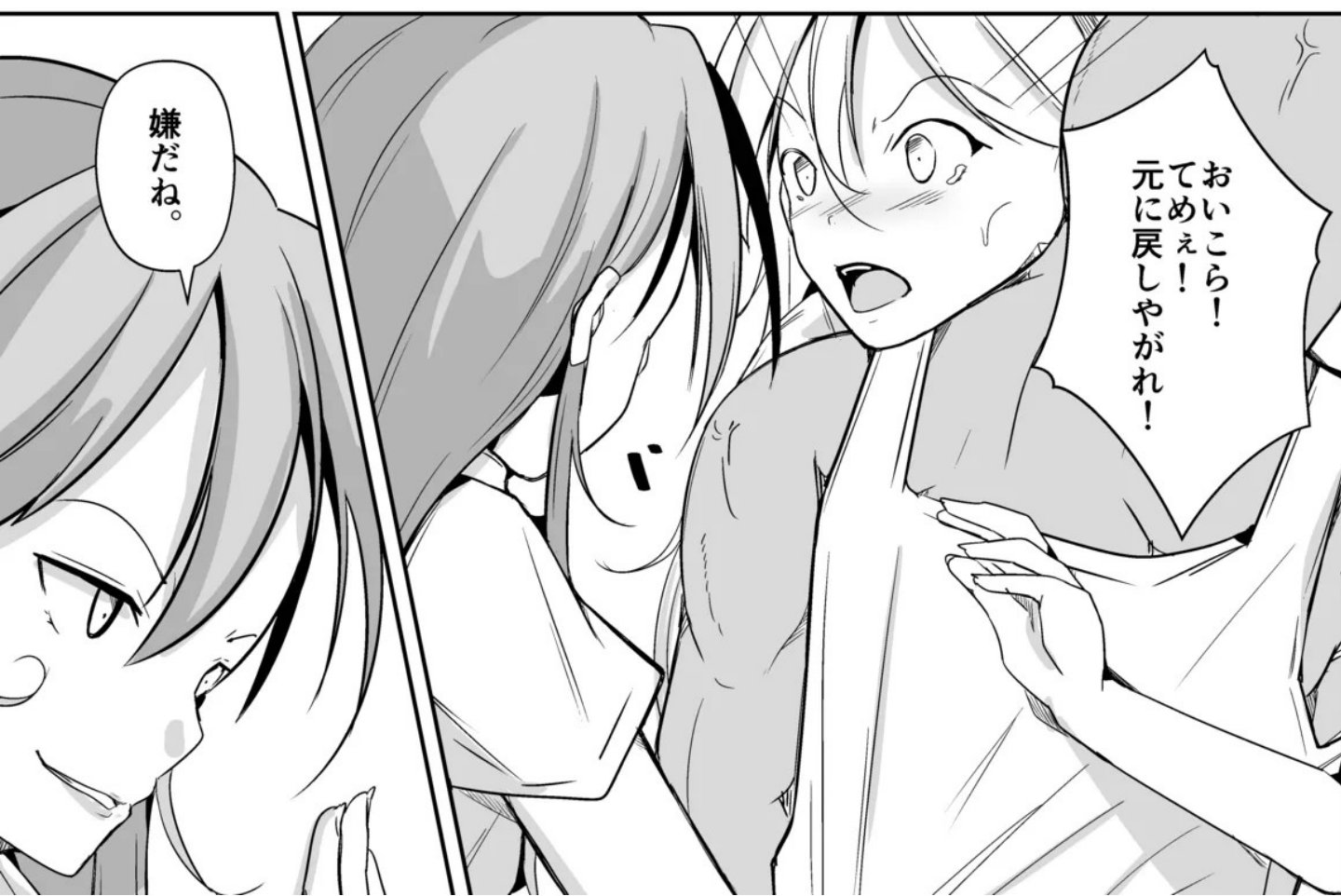
い
い
ね
え
。
良
い
表
情
だ
あ
。











続けたまえ。

俺はここで
見物させて貰うから

日頃のうっぷんを
晴らすが良いさ。

にひひ

ひぎあああつ！

なんだか
よくわからねえが

そうさせて
貰うぜえー！

△

や、やめろ
気持ちわりい…

くひひ。

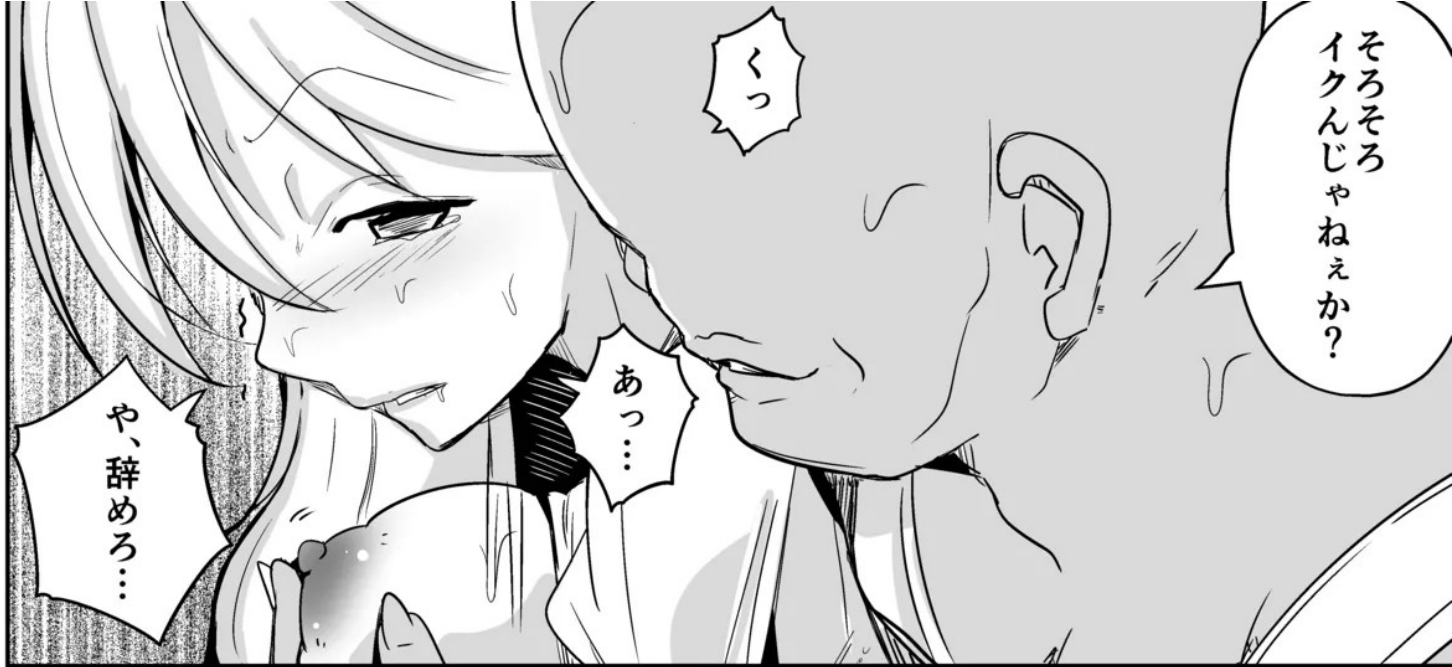
アニキい。
気持ち良いぜえ。

本当に
気持ち悪いのか？

奥、締まって
きたぜえ！

きゆうきゆう
言ってるあ。

きゅーっ





ヒュルル

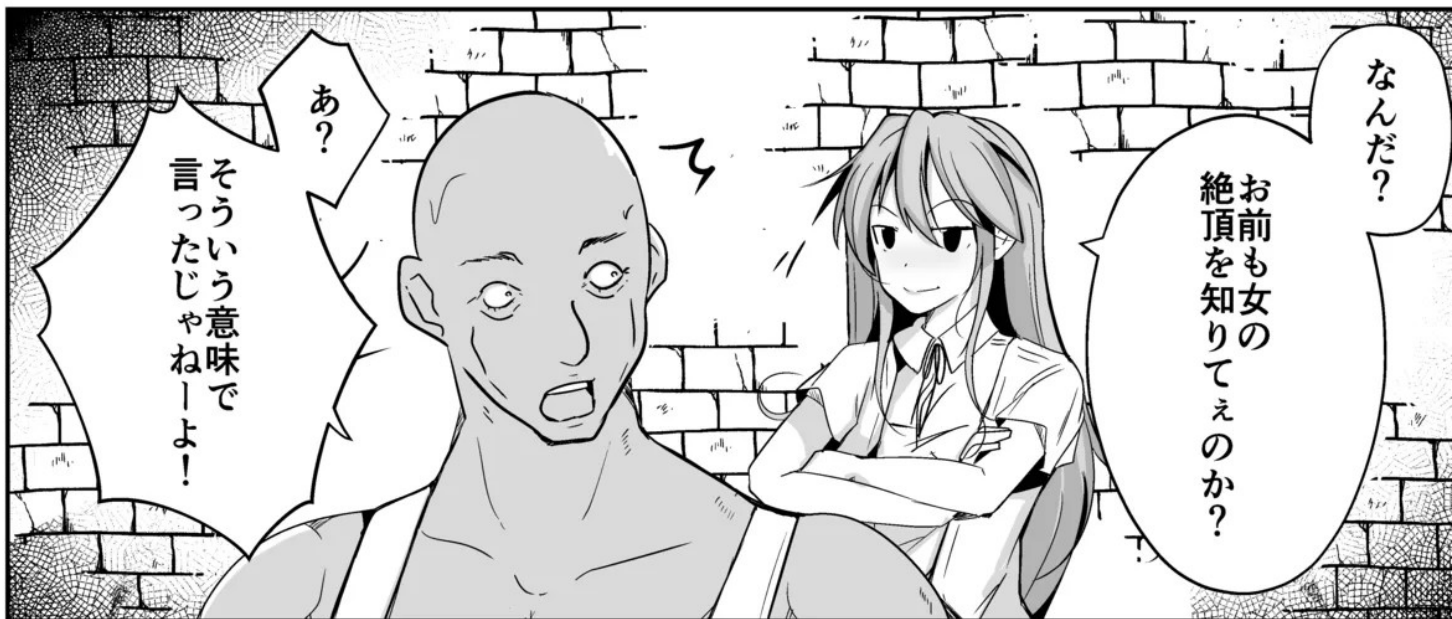
チンコでイカされて
ちまうなんてっ!

うあああつ!!

グッ

ん

マンコでイクって
感覚をよお〜!





俺がそこに
いるだと？

！
おおっ。
懐かしい感覚だあ。



やっぱキモいな。
男ってのは。

こんなもん
おっ勃ててよ。



でも、まあ。



嘘だろ？

これ以上人を
巻き込むと
怒られるからなあ。

特別だぜ？

メインボディを
貸してやる。

自分のマンコの
感触を知っておくのは
悪くねえわな。

うわ：
うっわあああああ！

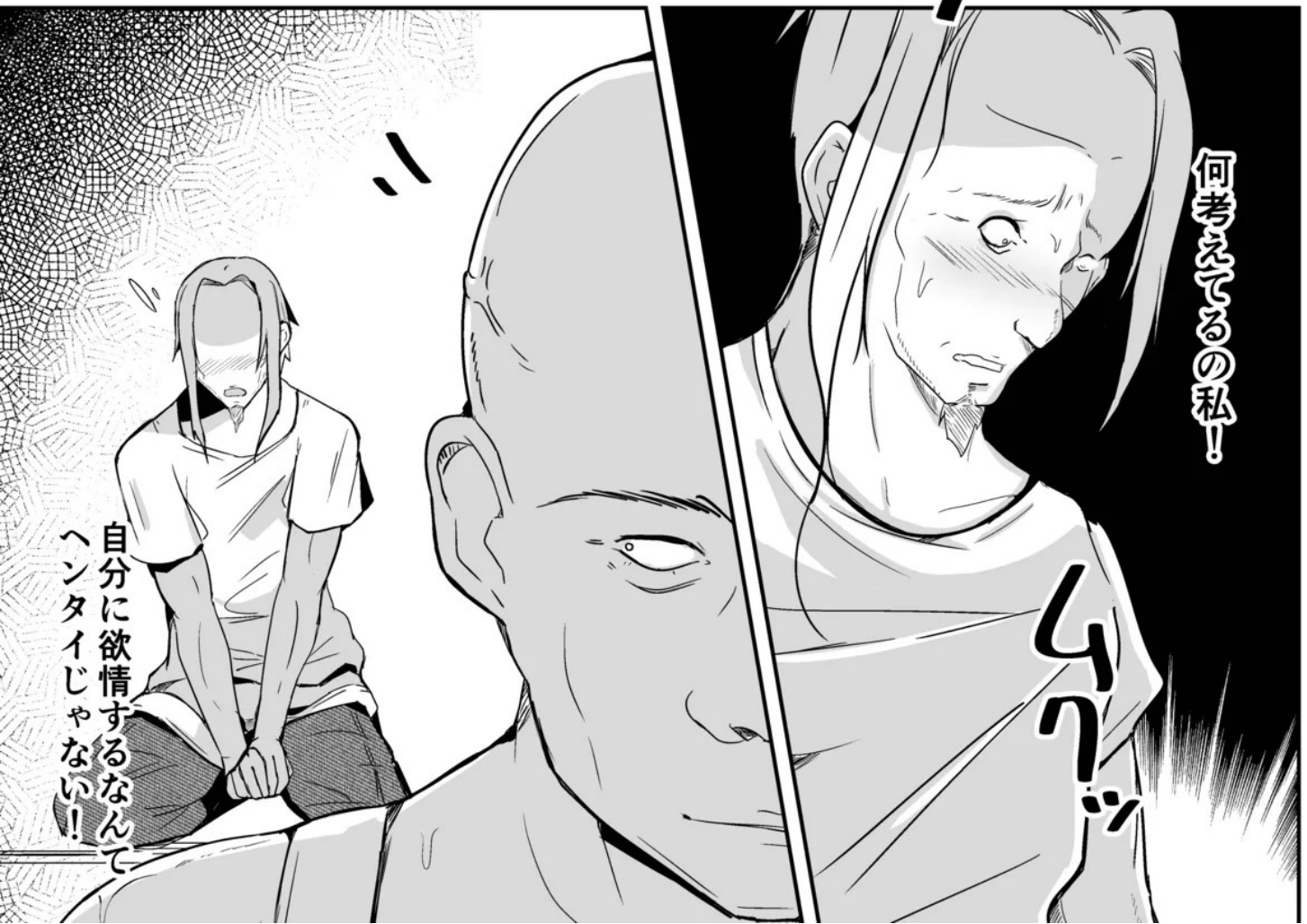
助けてくれえ〜！
アニキ〜！

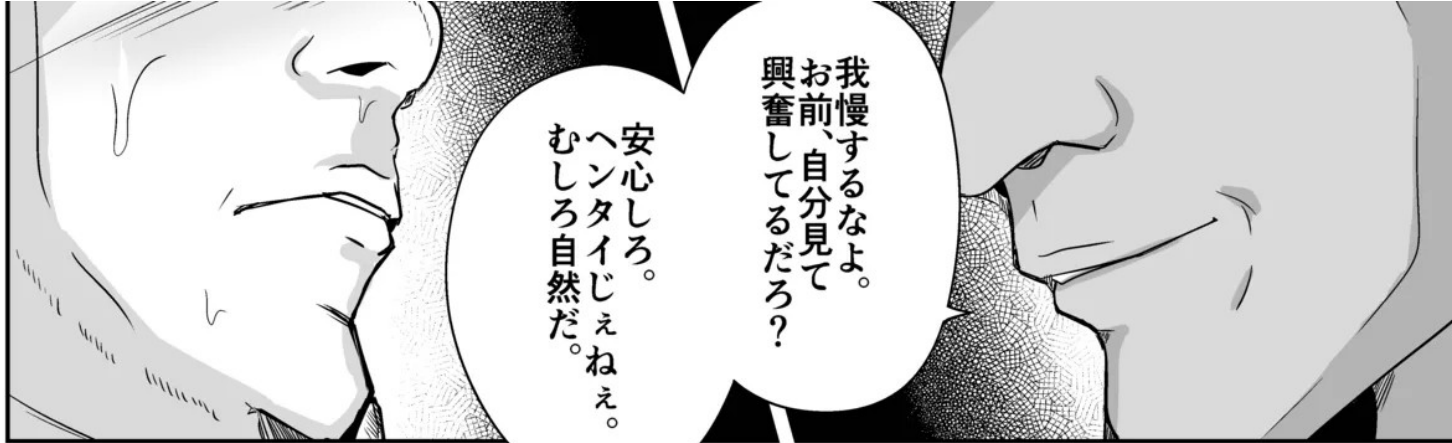
なんだ？
情けねえ奴だな。

スリ

クク。
俺の身体で
そんな顔するなよ。

興奮する
じゃないか。





我慢するなよ。
お前、自分見て
興奮してるだろ？

安心しろ。
ヘンタイじゃねえ。
むしろ自然だ。



ほら、コイツだって
あんなに
嫌がってたのに

ううっ…

んっ



女性の快感に
目覚めつつある。

本能には
抗えないのさ。

あっ…

ふう…



それに今しか
味わえねえーんだぞ。

ひゃん♡

今しか...

味わえない...

あう...

あっ...

んっ♡

楽しもうや。





や…やめ…て
くれ…

ふ…
ふ…
ふ…

本当に
そう思ってる？

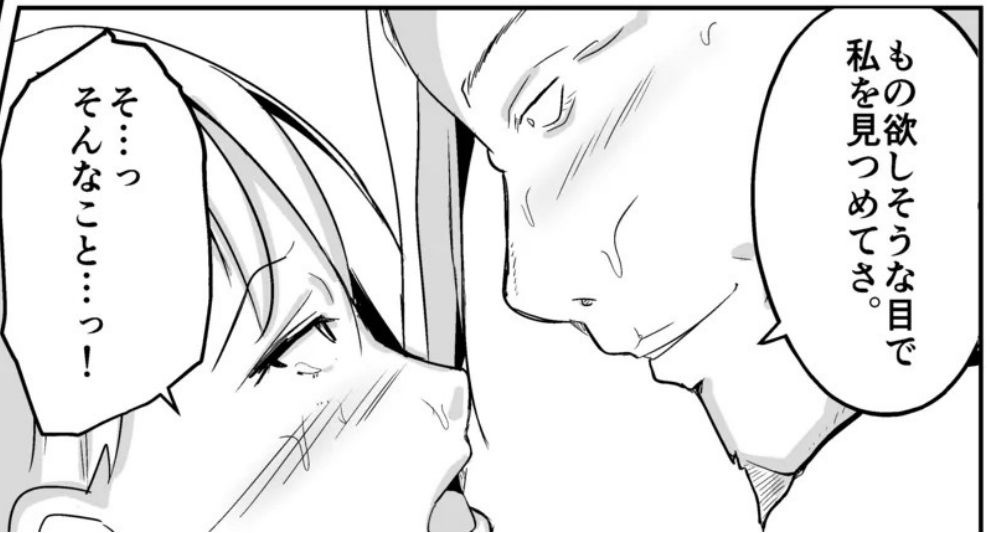


本当はコレが
欲しいんでしょう？



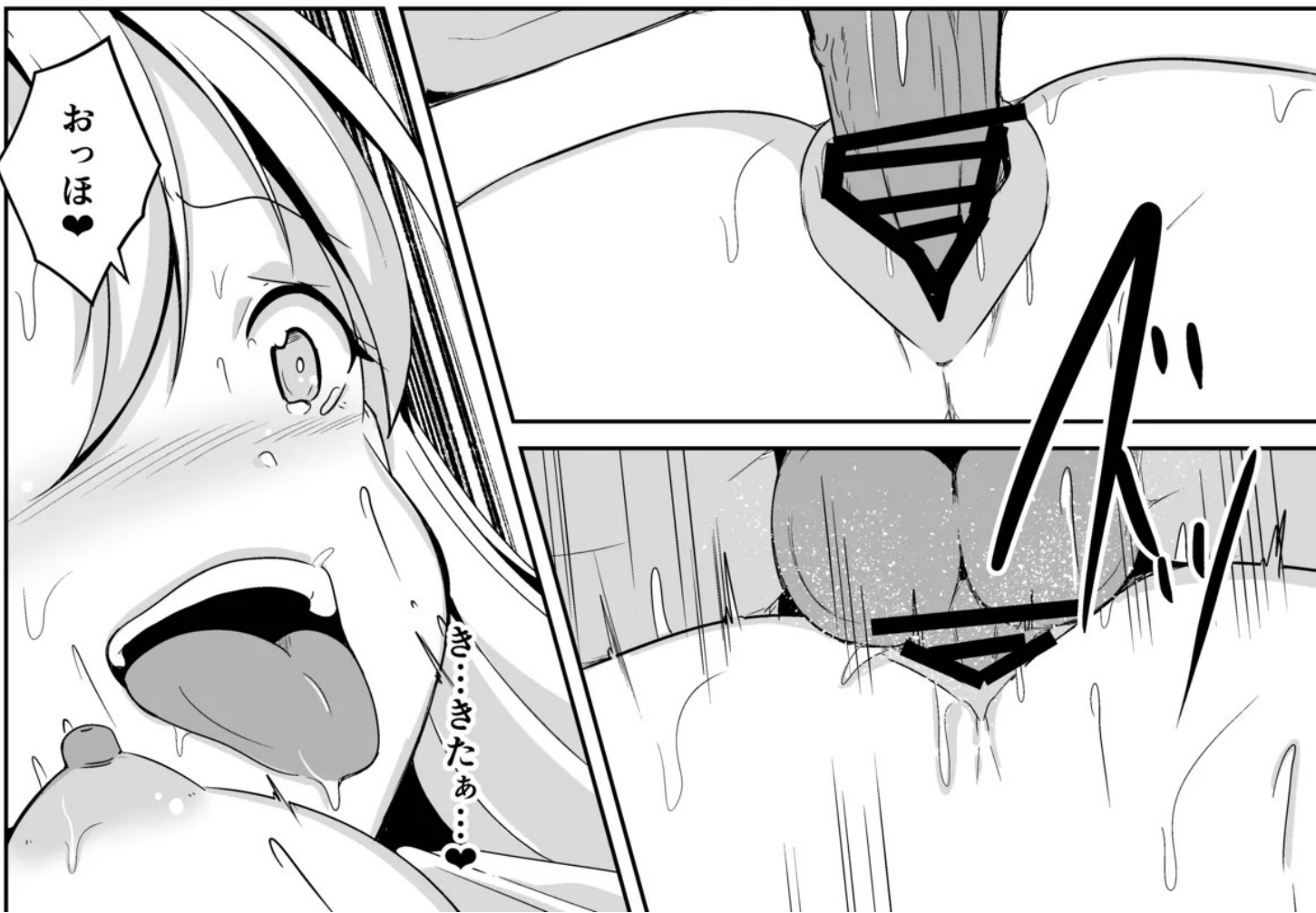
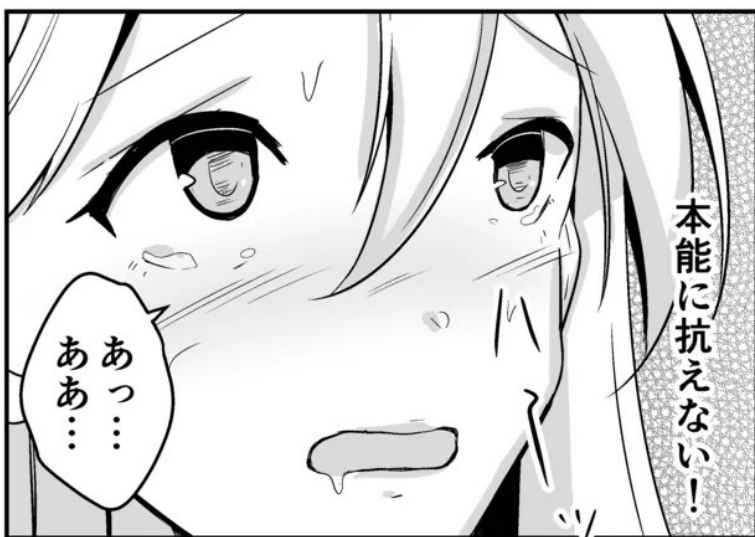
ククク。
いいねえ。

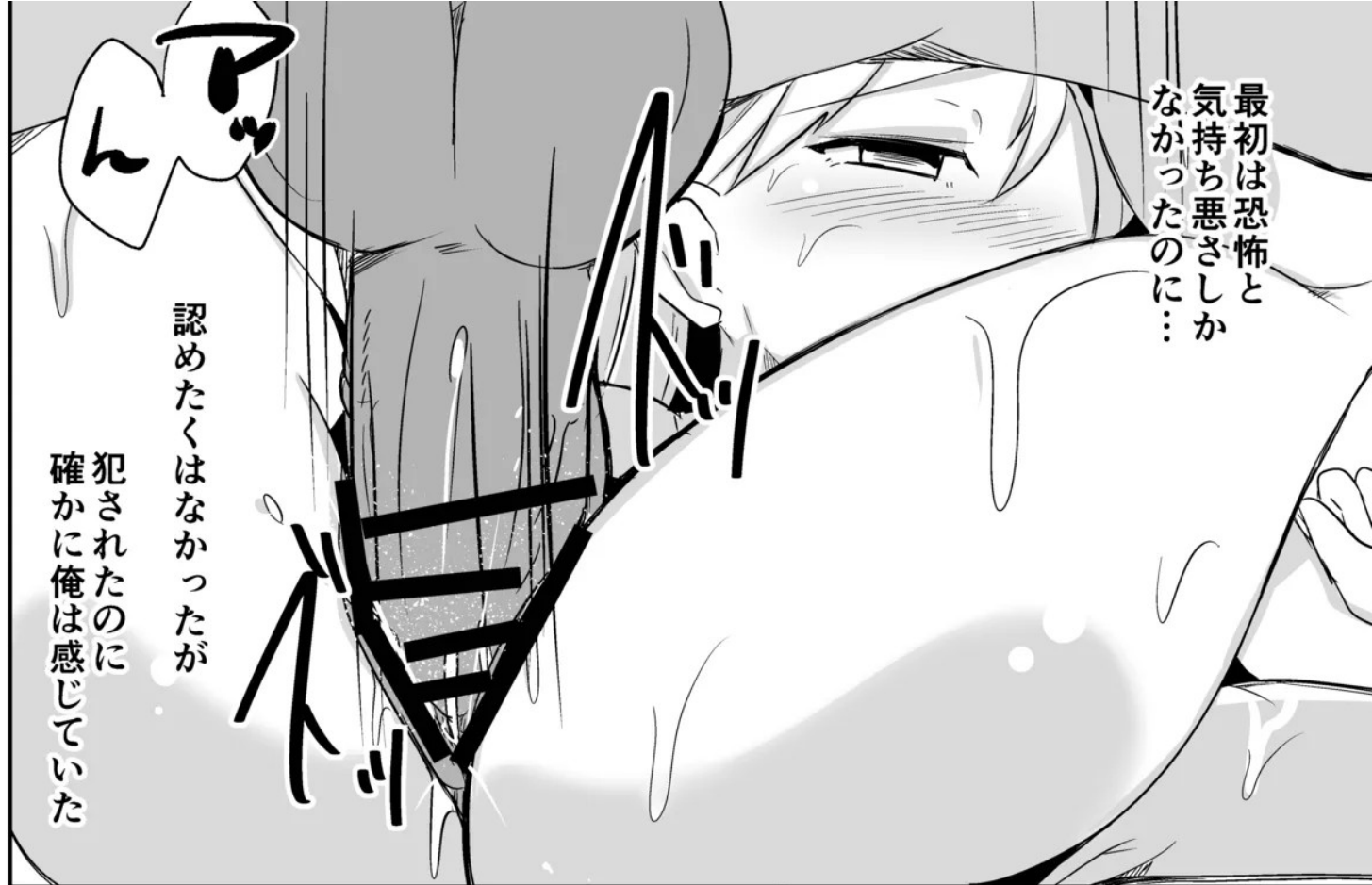
男の顔に
なったじゃねえか。



もの欲しそうな目で
私を見つめてさ。

そ…っ
そんなこと…っ！





最初は恐怖と
気持ち悪さしか
なかったのに…

認めたくはなかったが

犯されたのに
確かに俺は感じていた



そして…

今はさっき以上の
快感が♡



相手が自分だからか？

あっ♡

それとも

あなたが女の子になりつつあるからよ。

身体だけじゃなく心がね。

そんな事…

あーあーあー

ない…っ♡

ズン

ふふ。

図星みたいね。

認めるしかない。

…反論できない。
真実だからだ。

あっ♡

そして、ゴイツも
同じく男の本能に

ズ
ッ
ズ
ッ

んっ♡

私はもう、
心まで女に染まっている…

ハ
ッ
ッ

んんっ♡

気持ち
良いよお♡♡

奴は言った。
今しか味わえないと



だったら！

もっと♡

わかってる！

これが
欲しいんだろ！

もっとお♡

あはあ
あああ…♡

ああああっ♡

男女

を、楽しみ切って
やろうじゃないの！

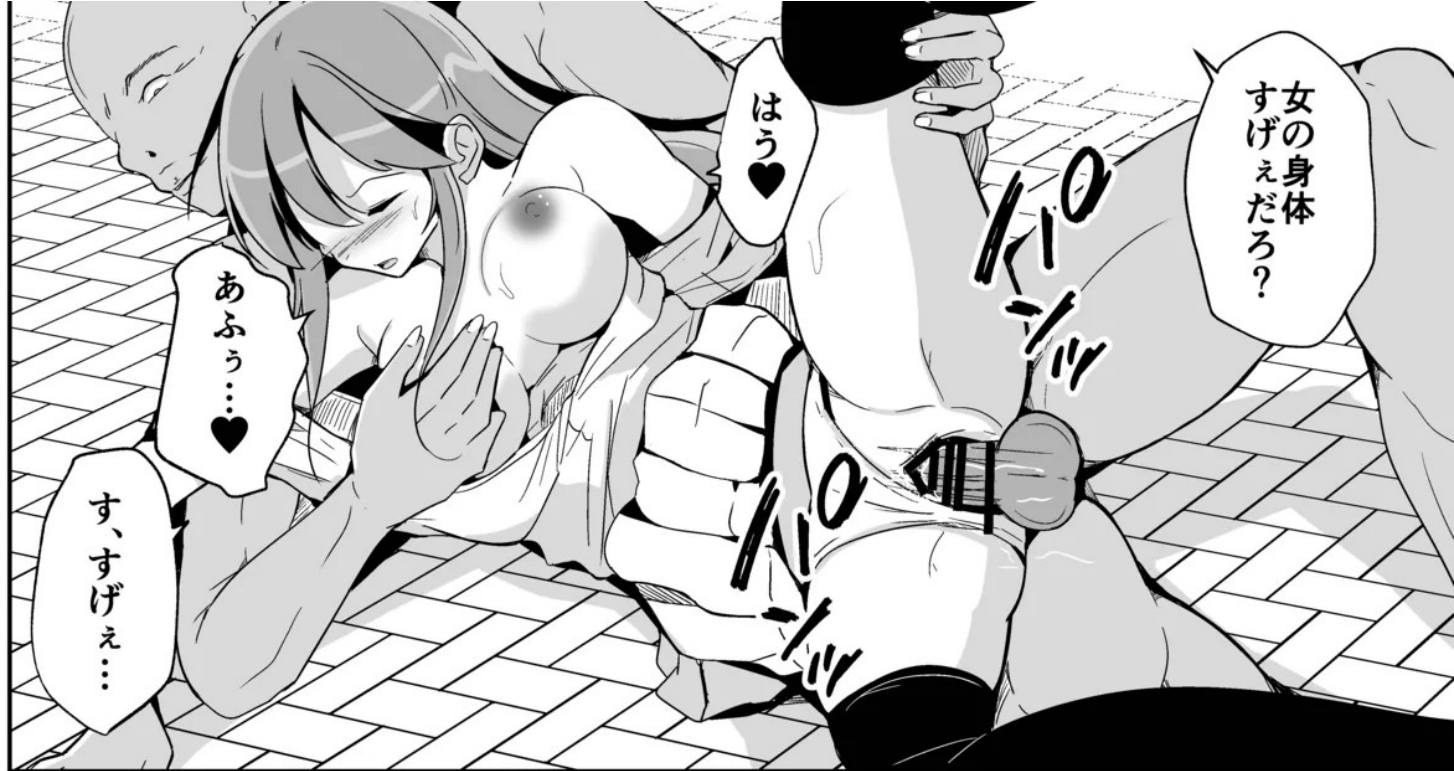


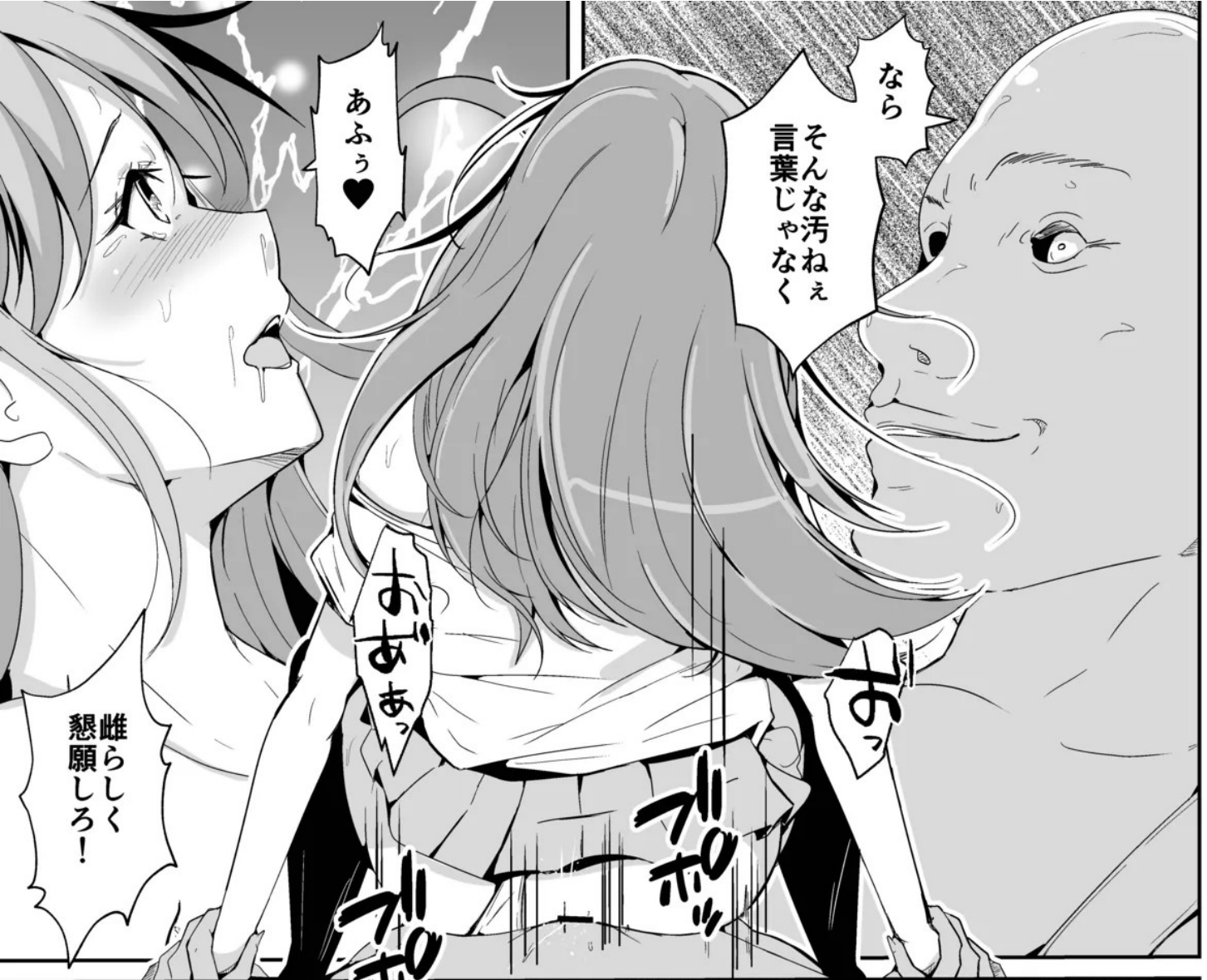
そう！
それえ…♡

ちんこお♡









たっぷり
くれてやらあ〜！

んっ♡

あああっ♡

びゅる〜

膣内につ
さ、ザーメン
出てるよあ〜♡

ビクッ♡
ビクッ♡



